



おばましの台所事情

令和元年10月
福井県 小浜市

目次

はじめに	2	貯金の残高	
基礎知識編		Q25. 貯金を取り崩しているけど、残高はどうなっているの？	25
Q1. 市役所の財政って、なに？	3	借金の残高	
Q2. 「予算」って、なに？	4	Q26. たくさんの借金をしているみたいだけど、借金の残高は？	26
Q3. どうやって、小浜市の予算を決めるの？	4	Q27. 他の会計を合わせた借金の残高は？	27
Q4. 一度決めた予算は、変えることはないの？	5	職員数	
Q5. 予算は、なんのために必要なの？	5	Q28. 職員は、何人いるの？	28
Q6. 「会計」って、たくさんあるの？	6	Q29. 臨時職員や非常勤職員を含めると、どうなるの？	29
Q7. 予算を使ったあとは、どうするの？	7	財政指標	
Q8. 決算書で小浜市の財政状況がわかるの？	7	Q30. 財政指標には、どんなものがあるの？	30
Q9. 普通会計の決算書には、なにが書いてあるの？	8	Q31. 他の会計などを含めた借金返済は、どの程度占めているの？	31
普通会計の金額		Q32. 将来の負担はどれくらいなの？	32
Q10. 普通会計の金額って、いくらぐらい？	9	Q33. 財政の柔軟性は、どうなの？	33
Q11. 主な公共施設の建設費は？	10	Q34. 「赤字」「黒字」の表現では、どうなっているの？	34
収入編		Q35. 純粋な1年間の収支は、「赤字」？「黒字」？	35
Q12. 収入は、どのように分けているの？	11	家庭に置換え編	
Q13. 収入の種類には、その他にどんな分け方があるの？	12	「〇〇億円」って言われても、…。もっと、庶民感覚で言ってよ！	
Q14. 市税は、増えているの？	14	Q36. 収入項目を年間500万円で生活する家庭で例えると？	36
Q15. 交付税って、なに？	15	Q37. 支出項目を年間500万円で生活する家庭で例えると？	38
Q16. 貯金の取り崩しは、どうなっているの？	16	全国比較	
Q17. 借金は、どうなっているの？	17	Q38. 全国比較で、小浜市の借金返済額は、どの程度？	40
Q18. なぜ、借金をするの？ 貯金があるのでは？	18	Q39. 全国比較で、小浜市の借金残高は、どの程度？	41
支出編		Q40. 全国比較で、小浜市の貯金残高は、どの程度？	42
Q19. いろいろな事業をしているみたいだけど、いくつかの事業をしているの？	19	Q41. 全国比較で、小浜市の財政の柔軟性は、どの程度？	43
Q20. 支出は、どのように分けているの？	20	財務書類	
Q21. 「目的別」支出は、どのように分けているの？	21	Q42. 財務書類って、なに？	44
Q22. 「性質別」支出は、どのように分けているの？	22	Q43. 小浜市の資産、負債はどれくらいあるの？	45
Q23. 義務的経費って、増えているの？	23	Q44. 行政サービスにかかるコストはどれくらい？	46
Q24. 公共施設建設や道路・公園整備は、増えているの？	24	Q45. 財務書類からなにが分かるの？	47
		おわりに	48

※ 数値は、すべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計等が合わない場合があります。
※ 平成30年度までは決算額を、令和元年度は決算見込み額を記載しています。

はじめに

昨今の社会経済情勢の変化や厳しい財政事情等を踏まえ、
施策の抜本的な見直しが進められています。

行政は「前例踏襲」や「あれもこれも」になりがちです。
見直しには、事業の必要性和行政のあるべき姿を考え、
長期的な観点からの判断が必要となります。
そのためには、財政情報が不可欠です。

市役所も同様です。

市民の皆さまが、市の財政運営に関心を持っていただき、
常にチェックできる環境を整備することは、基本的で重要なことです。

今後も、市民の皆さまがわかりやすい財政情報の公表に努めてまいります。

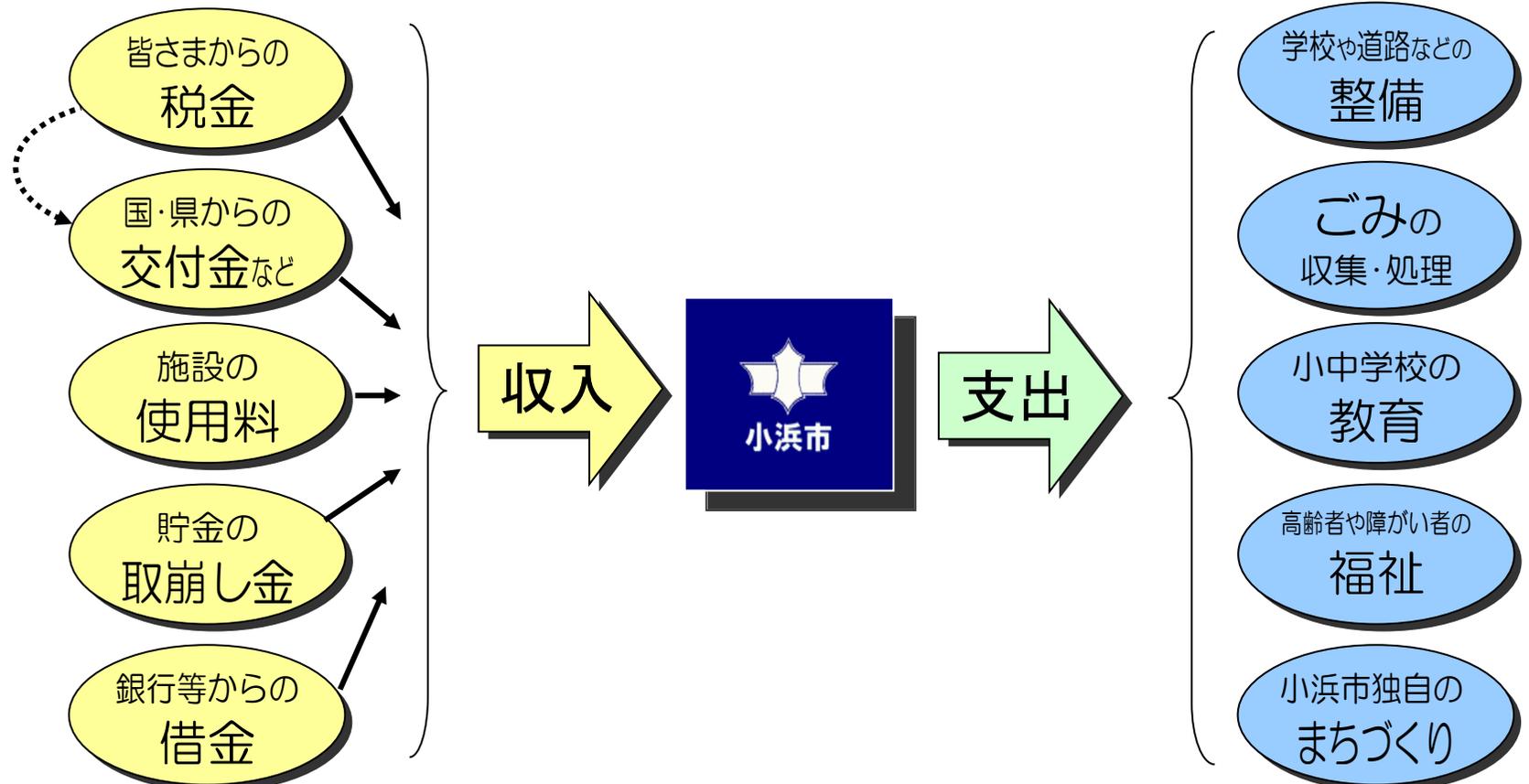
令和元年 10 月

小浜市 企画部 財政課

基礎知識編

Q 1. 市役所の財政って、なに？

A 1. 皆さまからの税金などをお預かりして、そのお金を皆さまの生活に欠かせない「公共施設の整備」や「環境」「教育」「福祉」などの事業に使います。これらのことについて、お金の面から管理することなどを財政といいます。



Q 2. 「予算」って、なに？

A 2. 予算とは、1年間（4月～翌年の3月）の収入と支出を見積もることです。

小浜市では、新しい年度が始まる前に、その新しい年度に、どのくらいの収入があるのか、そして、この1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、その費用を見積もります。

小浜市の予算書には、これからの1年間のお金の使いみちが記されています。

Q 3. どうやって、小浜市の予算を決めるの？

A 3. 市長が予算案を作ります。
そして、市議会の審議と議決によって成立します。

小浜市役所の各部署では、「1年間の収入」を見積もると同時に、市民の皆さまの意見や要望を聴き、「1年間の行政サービス」を検討します。市長は、各部署の案を自分の政策にそって、予算案としてまとめ、市議会に提案します。

市議会では、皆さまを代表する市議会議員が、提案された予算案をいろいろな面から議論、審議し、予算を決めます。



Q 4. 一度決めた予算は、変えることはないの？

A 4. 変えることがあります。「補正^{ほせい}予算」といいます。

市議会で決定した予算を使っていく上で、予算を作るときに予測できなかったことが起こることがあります。例えば、がけ崩れなどの災害で、すぐに対応しなければならない場合などがあります。このような時には、予算を変更し、その事態に対応することが必要です。この場合にも、市長が変更する予算案をつくり、市議会で審議し、議決によって成立します。この予算のことを補正予算といえます。

補正予算を審議する議会は、定例で年4回（6月、9月、12月、3月）あります。また、緊急のときは、臨時的に議会を開会し、審議することもあります。

Q 5. 予算は、なんのために必要なの？

A 5. 行政サービスを計画的に行うために、予算が必要です。

予算は、収入と支出の見積りとその計画です。皆さまへの行政サービスを計画的に行うためには、予算を作成することが必要となります。

市長には、予算の執行権があります。市長が予算を作成し、議会が議決することによって、市長の予算執行権を民主的にコントロールすることができます。そのためにも予算を作成する必要があります。

予算が成立した後、予算の執行権者である市長は、その責任において予算の執行を開始します。歳入における予算の執行と歳出における予算の執行とは、その性質や効力の面で異なります。歳入予算は、単なる収入の見込みにすぎないので、予算額を上回る収入も可能ですし、予算額よりも少額の収入となることもあります。しかし、歳出予算は成立した予算の目的に従って、予算の範囲内において執行する必要があります。つまり、予算額を超えて支出することはできません。

このように予算を決めることによって、予算執行権のある市長の権限を民主的にコントロールすることが可能となります。

Q 6. 「会計」って、たくさんあるの？

A 6. わかりやすいように、大きく3つの会計に分けています。
 すべての会計の合計は、268億円です。(30年度歳出決算額)

市の仕事は、いろいろな分野にわたっていますので、大きく次の3つに分けています。
 さらに、特別会計は8つに分けています。

一般会計
 168億円

普段、小浜市の会計というと、この一般会計のことをいいます。一般会計とは、市の行政サービスの基礎的なこと、つまり、道路、小中学校の整備や環境・教育・福祉の行政サービス、まちづくりなどを行うための会計のことです。主な収入は、市税（市民税や固定資産税など）や国・県支出金などです。
 (167億8,418万円)

特別会計
 91億円

- ・国民健康保険に関する特別会計 (31億246万円)
- ・後期高齢者医療に関する特別会計 (3億7,794万円)
- ・介護保険に関する特別会計 (32億3,718万円)
- ・簡易水道に関する特別会計 (8,461万円)
- ・公共下水道に関する特別会計 (17億1,899万円)
- ・農業集落排水に関する特別会計 (4億6,559万円)
- ・漁業集落排水に関する特別会計 (5,351万円)
- ・加斗財産区に関する特別会計 (2万円)

特別会計とは、特定の目的のための会計で、下水道使用料など特定の収入があり、一般会計から切り離してその収入・支出を経理する会計のことです。
 小浜市には、8つの特別会計があります。

企業会計
 9億円

- ・上水道に関する会計 (9億3,188万円)

小浜市の公営企業会計は水道事業1つです。
 民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

Q 7. 予算を使ったあとは、どうするの？**A 7. その年度の収入と支出の結果を「決算書」として作成し、報告します。**

「入ってくる予定のお金」と「そのお金の使いみち」が「予算」でした。その予算を使った結果を「決算」といいます。決算は、実際に「入ったお金」と「使ったお金」をまとめたものです。つまり、1年間に予算の範囲内で行った行政サービスをあらわしています。

決算書は、会計管理者がつくり、市長が市議会の認定を受けることになります。

Q 8. 決算書で小浜市の財政状況がわかるの？**A 8. 全国の市町村と比較できるように集計します。
それを「普通会計」といいます。**

全国には、平成30年度末で1,741の市区町村があります。それぞれの市区町村に特有の状況があり、一般会計を単純に比較しても、正確な比較ができません。そのため、全国一律の基準により、比較できるようにしたのが「普通会計」です。

一般会計の決算額	167億8,418万円
普通会計の決算額	167億8,418万円

〔平成30年度歳出決算額〕

一般会計の決算書は、事業ごとの決算額が、
普通会計の決算書は、いろいろな分析結果が
のっているんだね！

Q 9. 普通会計の決算書には、なにが書いてあるの？

A 9. 金額だけでなく、経営状態をあらわす指数も書いてあります。

金額

収入や支出の金額を「目的別」や「性質別」に分けて、書いてあります。
目的別とは、何を目的として使ったか（例えば、[福祉]や[教育]、[産業]など）が分かるように区分しています。
性質別とは、使ったお金がどういった性質を持っていたか（例えば、[人件費]や[建設]、[借金の返済]など）が分かるように区分しています。

収支の状況

収入と支出の差額を書いています。
この数値がマイナスになると「赤字」となります。

「経常収支比率」という数値だね！

財政の柔軟性

経常的収入（毎年、決まって収入されるもの）のうち、経常的支出（毎年、決まって支出されるもの）の割合をあらわしたものです。
家庭に例えると、給料のような毎月決まって得られる収入のうち、食費や光熱水費などのような毎月確実に支出される経費の割合ということになります。
この数値が低い方が、自由に使えるお金が増え（この状態を「柔軟性が高い。」と言います。）、市民のみさんのいろいろなニーズに応えることができます。

「実質公債費比率」という数値だね！

借金返済の占める率

収入のうち、借金返済に占める割合をあらわしたものです。
当然、この数値が低い方が健全な財政といえます。

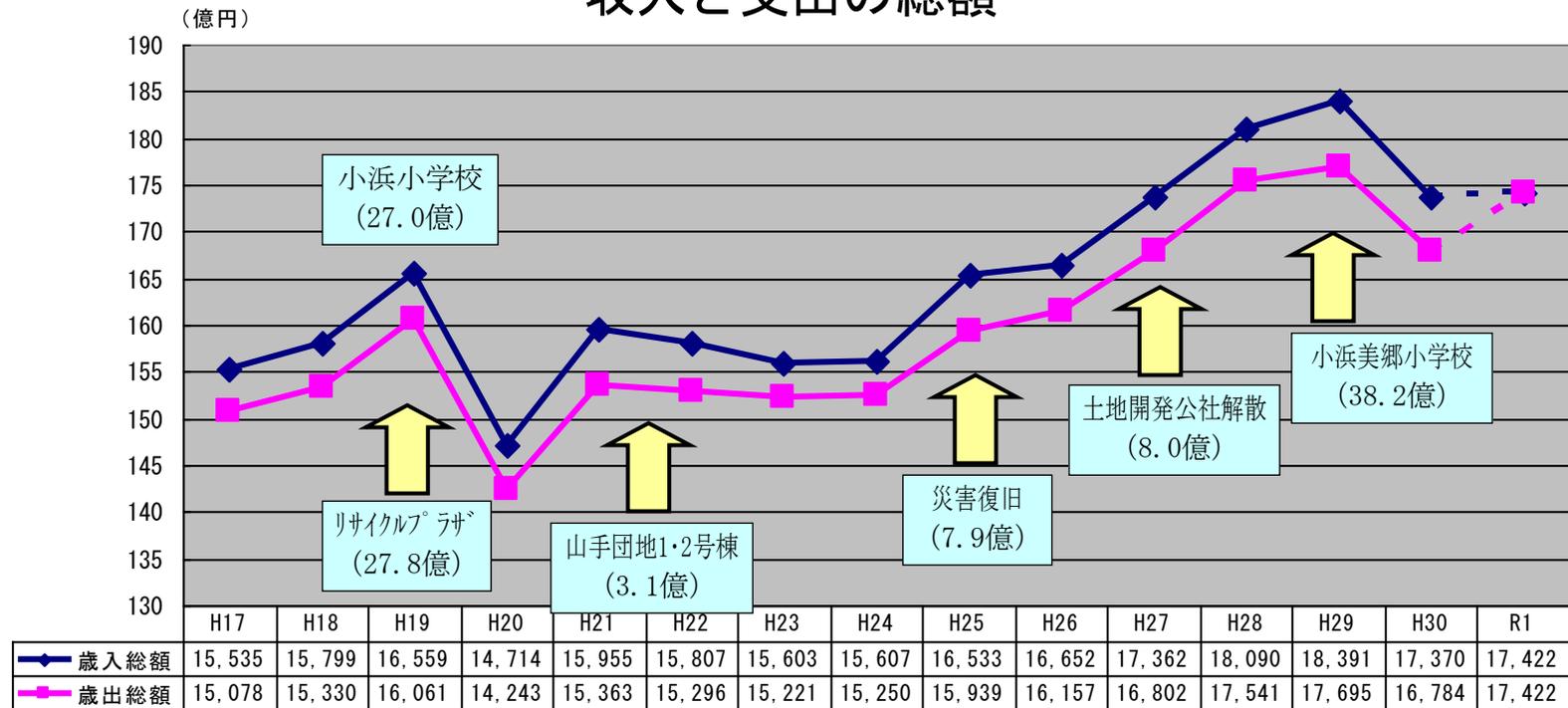
普通会計の金額

Q10. 普通会計の金額って、いくらぐらい？

A10. 収入は174億円、支出は168億円です。(30年度決算額)

かなりの変動があります。少し、山になっている（増えている）ところは、公共施設を建設したときなどです。近年は扶助費の増加などで決算規模は拡大する傾向にあります。

収入と支出の総額



(表の単位：百万円)

借金の割合が
多いんだね！

Q11. 主な公共施設の建設費は？

A11. 「平成」以降の主な公共施設の建設費は、次のとおりです。

施設名	金額	場所	工事期間	完成年度	財 源 内 訳				
					国支出金	県支出金	借金(*1)	市税等	その他
働く婦人の家	5.1 億円	大手町	H3	H 3	0.5 億円	0.3 億円	2.9 億円	1.4 億円	
総合運動場	38.2 億円	口田縄	H2~H6	H 6			27.8 億円	10.4 億円	
交流ターミナルセンター	4.5 億円	城内	H7	H 7	2.2 億円	0.5 億円	1.6 億円	0.2 億円	
クリーンセンター	25.6 億円	谷田部	H8~H11	H11	3.4 億円	0.7 億円	19.4 億円	1.6 億円	0.5 億円
総合福祉センター	12.1 億円	遠敷	H12~H13	H13		5.2 億円	2.6 億円	2.9 億円	1.4 億円
食文化館	16.4 億円	川崎	H13~H15	H15		9.1 億円	5.0 億円	2.3 億円	
濱の四季	0.9 億円	川崎	H15	H15	0.4 億円	0.1 億円		0.4 億円	
久須夜交流センター	1.6 億円	阿納尻	H16~H17	H17	0.7 億円		0.8 億円	0.1 億円	
ふるさと文化財の森センター	0.6 億円	深野	H17	H17	0.3 億円		0.2 億円	0.05 億円	0.05 億円
小浜小学校	27.0 億円	駅前町	H16~H19	H19	7.2 億円		15.4 億円	3.2 億円	1.2 億円
リサイクルプラザ(*2)	27.8 億円	深谷	H16~H19	H19	6.4 億円		17.0 億円	1.5 億円	2.9 億円
企業誘致土地造成	4.6 億円	遠敷	H17~H19	H19			3.0 億円	1.6 億円	
小浜中学校武道館	1.1 億円	雲浜	H21~H22	H22	0.5 億円		0.2 億円	0.4 億円	
山手団地 1～5号棟	6.4 億円	山手	H21~H23	H23	3.0 億円		3.4 億円		
小浜中学校北館改築	8.9 億円	雲浜	H22~H24	H24	3.7 億円		4.5 億円	0.7 億円	
今富公民館	4.3 億円	和久里	H24~H25	H25	0.3 億円	3.9 億円	0.1 億円		
まちの駅	5.4 億円	白髭	H25~H28	H28	2.1 億円	1.6 億円	1.4 億円	0.3 億円	
小浜美郷小学校	38.2 億円	金屋	H25~H30	H30	6.9 億円		25.7 億円	3.7 億円	1.9 億円
小浜病院(高度医療施設)	112.0 億円	大手町	H15~H19	H19	2.6 億円	7.9 億円	99.1 億円	(*3) -	2.4 億円

*1：借金の返済は、市税等で行います。

*2：深谷環状線整備事業を含みます。

*3：小浜病院の借金のうち 40%を構成市町が負担し、そのうち小浜市の負担は約 80%です。

Q12. 収入は、どのように分けているの？

A12. 収入は、通常「性質別」に分けています。

(P.36を参照)

収入や支出は、「性質別」と「目的別」に区分されます。収入は、通常「性質別」に分けます。

収入項目	内 容	金額(30年度決算額)
市税	みなさんが小浜市へ納めていただく税金です。	36億 6,305万円
分担金・負担金など	事業を行ううえで、その事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて負担していただきます。	2億 2,769万円
使用料・手数料など	市の施設を利用する時に支払うお金です。	3億 568万円
市債	銀行などからの借金です。	12億 5,413万円
繰入金	主に、基金(貯金)を取り崩すお金です。	5億 2,815万円
地方交付税・譲与税など	みなさんが国へ納めていただく税金です。国や県を通じて、小浜市に入ります。使い道は自由です。	58億 6,165万円
国・県支出金など	みなさんが国や県へ納めていただく税金です。国や県を通じて、小浜市に入ります。これは、使い道が決められています。	38億 4,104万円
その他	財産収入(土地などの貸付収入)、繰越金(前年度の余剰金)寄附金、諸収入(貸付けたお金の返済金や上記にあてはまらないもの)	16億 8,894万円
合 計		173億 7,034万円

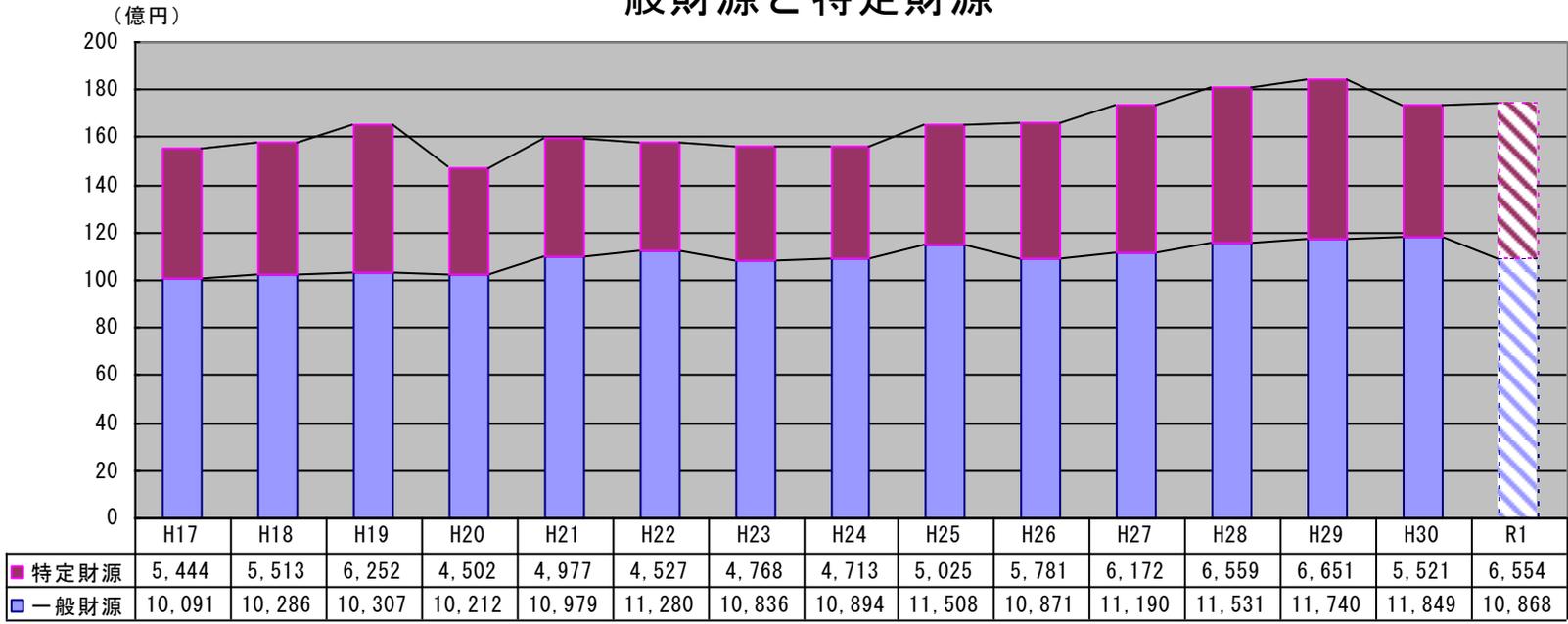
※ 数値は、すべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計等が合わない場合があります。

Q13. 収入の種類には、その他にどんな分け方があるの？（その1）

A13-1. 「一般財源」と「特定財源」の分け方があります。

一般財源は、使いみちが決まっていないお金です。市税や国からの譲与税、地方交付金などがあります。
 逆に、特定財源は、使いみちが決められていて、国や県からの補助金や建設のための借金などです。補助金などの特定財源には、検査があり、決められたもの以外に使うと、返還しなければなりません。
 特定財源は、その時の事業により、大きく増えたり減ったりします。

一般財源と特定財源



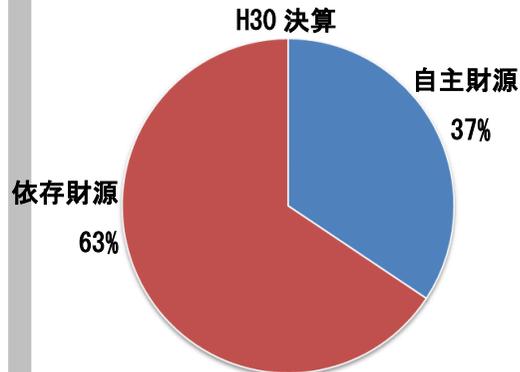
(表の単位：百万円)

自前で稼げる分を「自主財源」
他からもらう分を「依存財源」
って言うんだね！

Q13. 収入の種類には、その他にどんな分け方があるの？（その2）

A13-2. 「自主財源」と「依存財源」の分け方もあります。

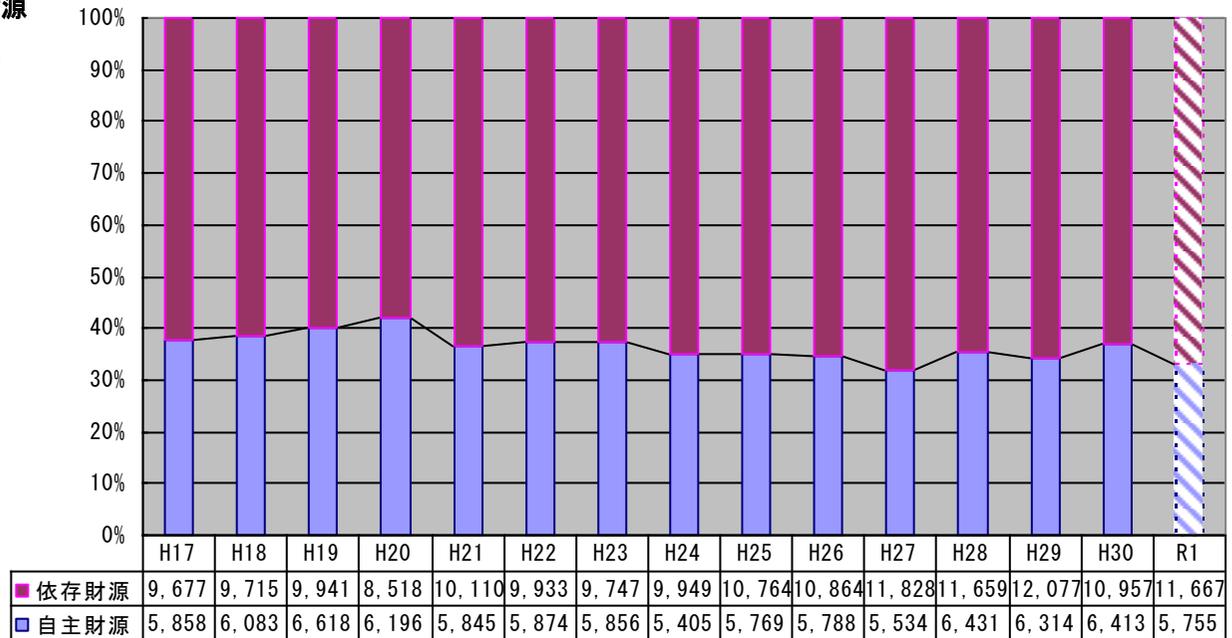
自主財源とは、市が自主的に収入することのできる財源です。市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金、財産収入などが該当します。
依存財源とは、国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のことです。地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、市債などが該当します。



自主財源が多い方が
「財政力」があると言えるね！

約 4 割が自主財源
約 6 割が依存財源

自主財源と依存財源の割合



(表の単位：百万円)

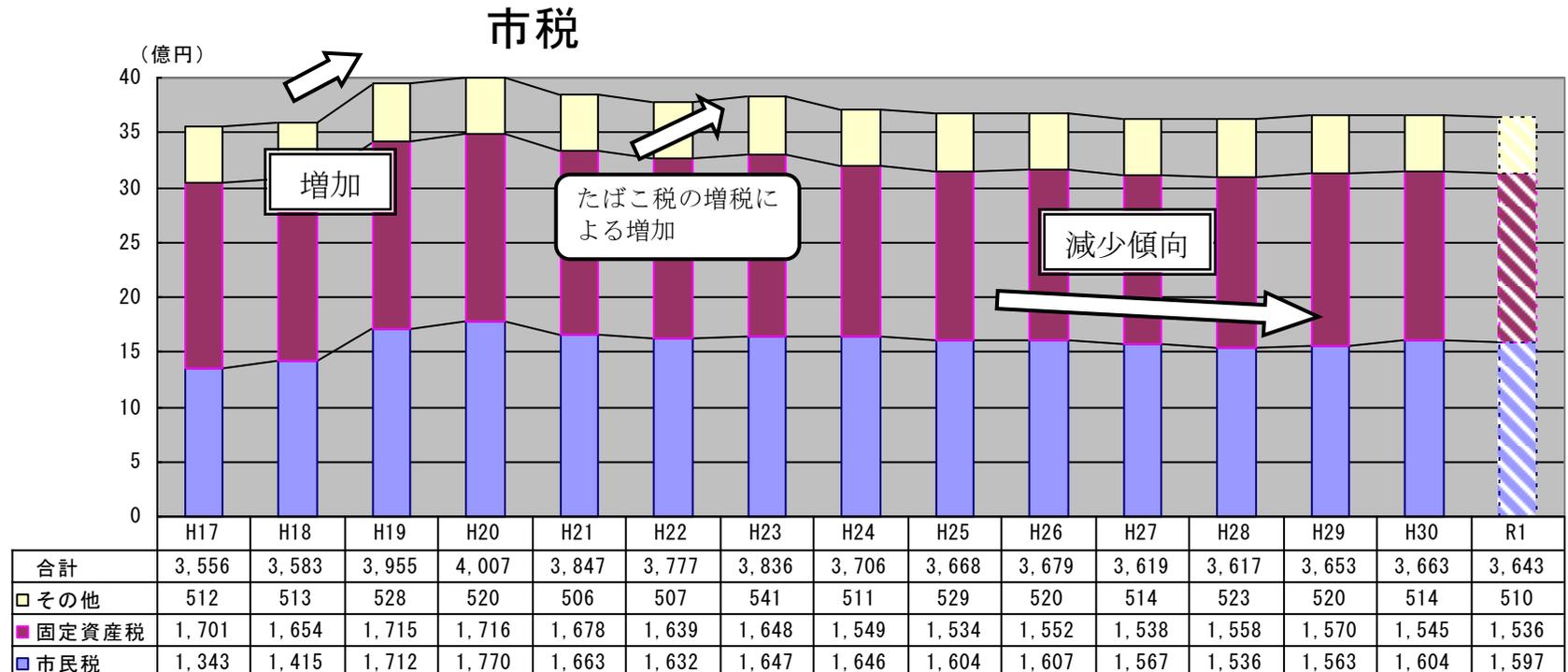
Q14. 市税は、増えているの？

A14. 19年度に税源移譲のため増えましたが、現在は減少傾向です。

平成9年度をピークに平成16年度まで減少傾向でしたが、平成17・18年度はやや増加しました。

平成19年度は約3億円増えましたが、「税源移譲」（国の税金である所得税が減税となり、その減った分が県・市民税の増額となりました。）によるものです。

平成21年度以降は、景気の低迷などにより、減少傾向にあります。



(表の単位：百万円)
※ 数値は、すべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計等が合わない場合があります。

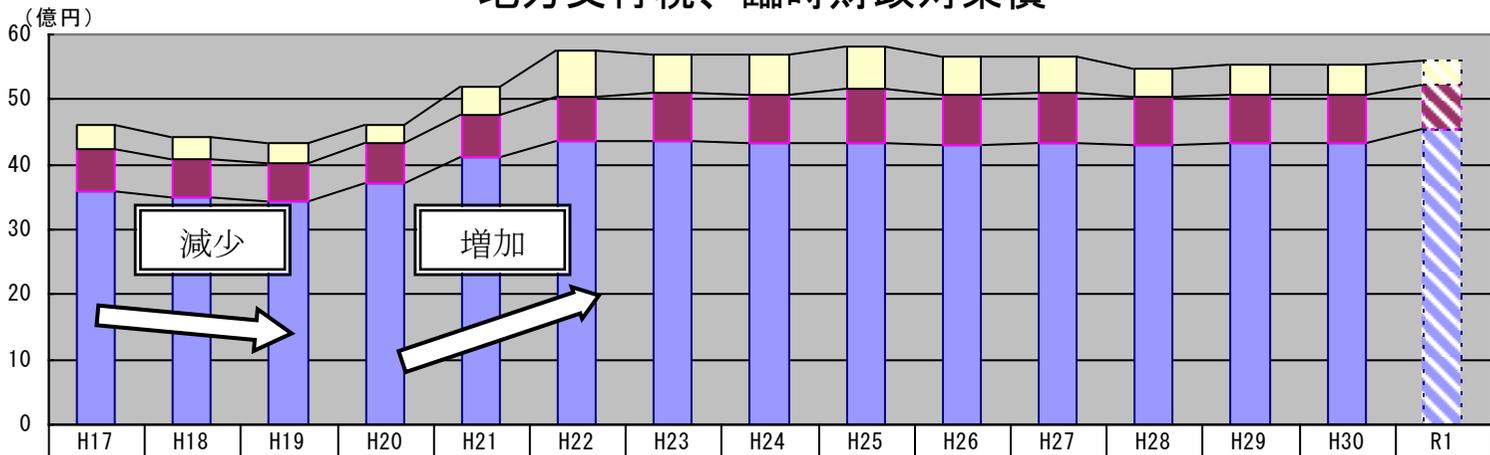
Q15. 交付税って、なに？

A15. 交付税は「国からの仕送り」です。三位一体の改革による減少後、増加しましたが、近年は横ばいで推移しています。

交付税は、全国の市町村が一定水準のサービスができるよう、財政基盤の弱いところに交付されるものです。平成 16～18 年度の「三位一体の改革」により減りましたが、平成 20・21 年度「地域の元気回復」のため全国で地方交付税が 1 兆円、平成 22 年度は 1.1 兆円増額されたことから、平成 20 年度以降増加しましたが、近年は横ばいで推移しています。

臨時財政対策債とは、交付税の減額する部分を借金でまかなっているものです。普通交付税は、交付税全体の 94% を占め、特別交付税は、残りの 6% で、普通交付税でカバーできない特別の事情に対するものです。

地方交付税、臨時財政対策債



	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
合計	4,611	4,413	4,320	4,623	5,188	5,744	5,685	5,705	5,800	5,666	5,656	5,487	5,544	5,496	5,609
□ 臨時財政対策債	381	328	298	279	433	693	585	628	639	595	565	457	473	473	373
■ 特別交付税	632	595	586	635	649	687	734	744	844	764	777	727	742	737	700
■ 普通交付税	3,598	3,489	3,435	3,708	4,106	4,365	4,366	4,333	4,317	4,307	4,315	4,303	4,330	4,331	4,536

(表の単位：百万円)

※ 数値は、すべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計等が合わない場合があります。

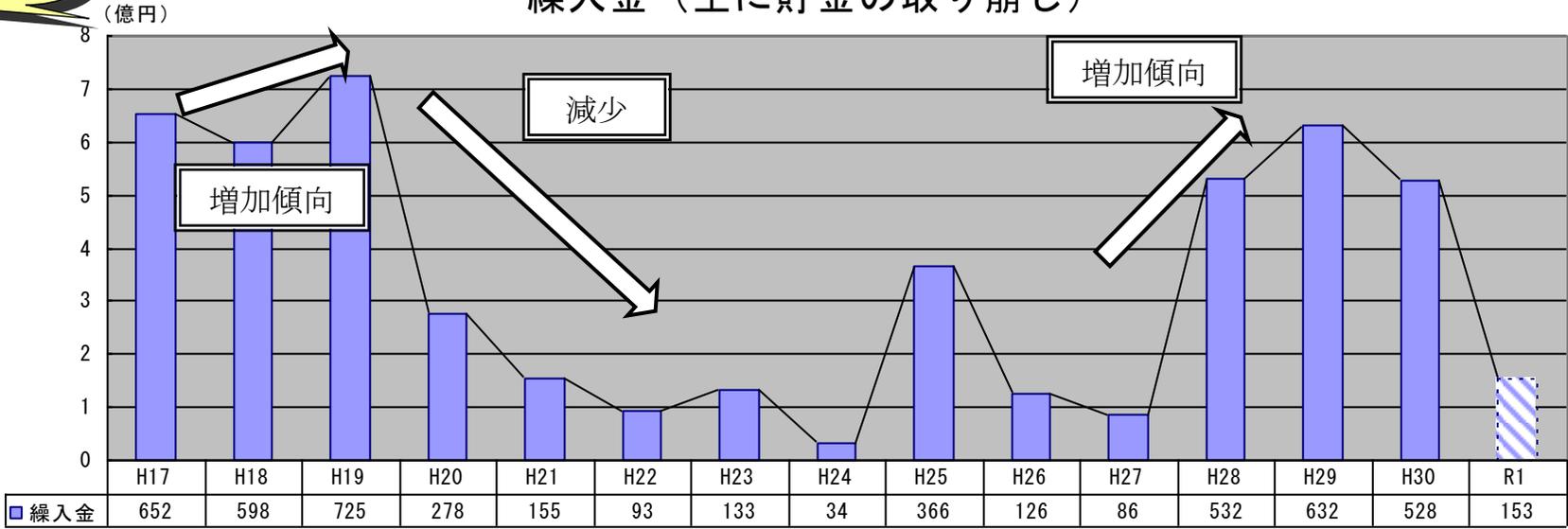
Q16. 貯金の取り崩しは、どうなっているの？

A16. 20年度以降減っていましたが、28年度以降大きく取り崩す状況が続いています。（残高はP.25を参照）

平成16年10月の台風の被害による復旧事業や三位一体の改革により、お金の不足が生じ、貯金を取り崩しています。また、平成18・19年度は小学校、リサイクルプラザの建設のため、前もって積み立てていた貯金を取り崩しました。平成20年度から減少しましたが、平成25年度は台風の被害による復旧事業のため貯金を取り崩しています。また、平成28年度から平成30年度は小浜美郷小学校建設や国体などにより貯金を取り崩しています。貯金の残高は、P.25をご覧ください。

大型事業が継続中のため取り崩す状況が続いています。

繰入金（主に貯金の取り崩し）



(表の単位：百万円)

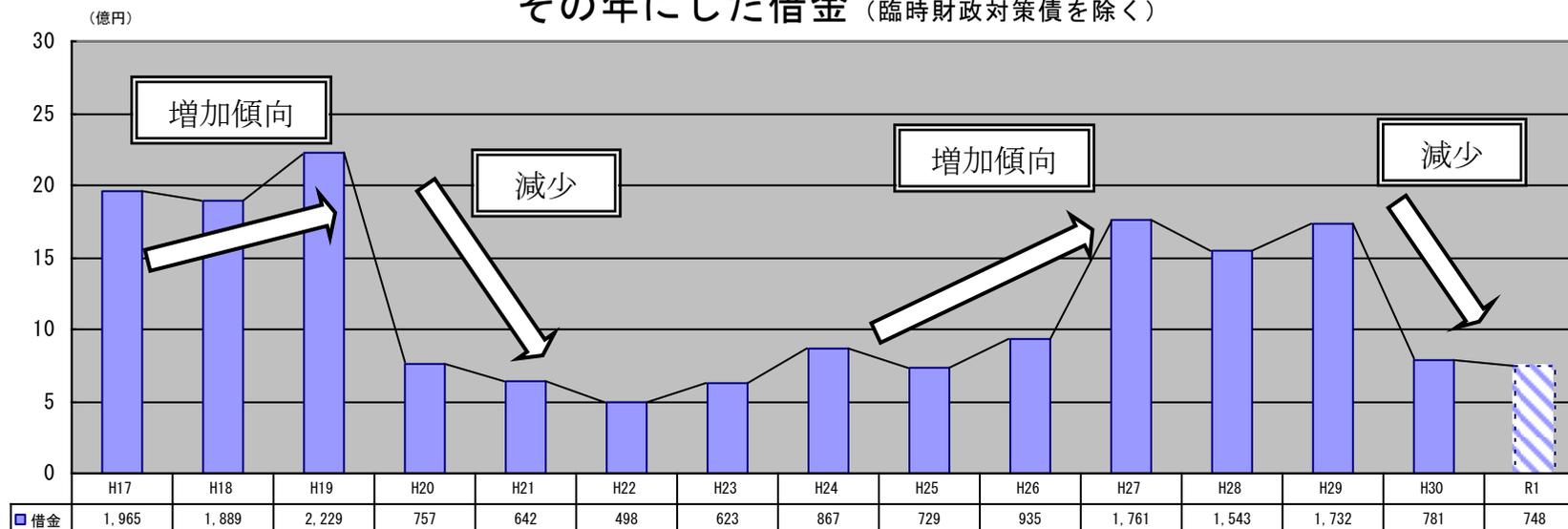
Q17. 借金は、どうなっているの？

A17. 20年度からは抑制していましたが、26年度以降増加傾向にあります。
 (残高はP.26を参照)

平成16年度以前は、毎年、約10～16億円の借金をしていました。毎年の借金の返済が15～20億円ですので、プライマリーバランス(*)は黒字でした。

平成17年度～19年度は、小浜小学校やリサイクルプラザ建設のために多額の借金をしました。それ以降の借金を抑制することで、平成23年度に迎えた借金返済のピークは乗り切ることができましたが、26年度以降、小浜美郷小学校の建設、小浜地区中・西部地域の観光まちなみ整備等により増加しました。借金の残高は、P.26をご覧ください。

その年にした借金 (臨時財政対策債を除く)

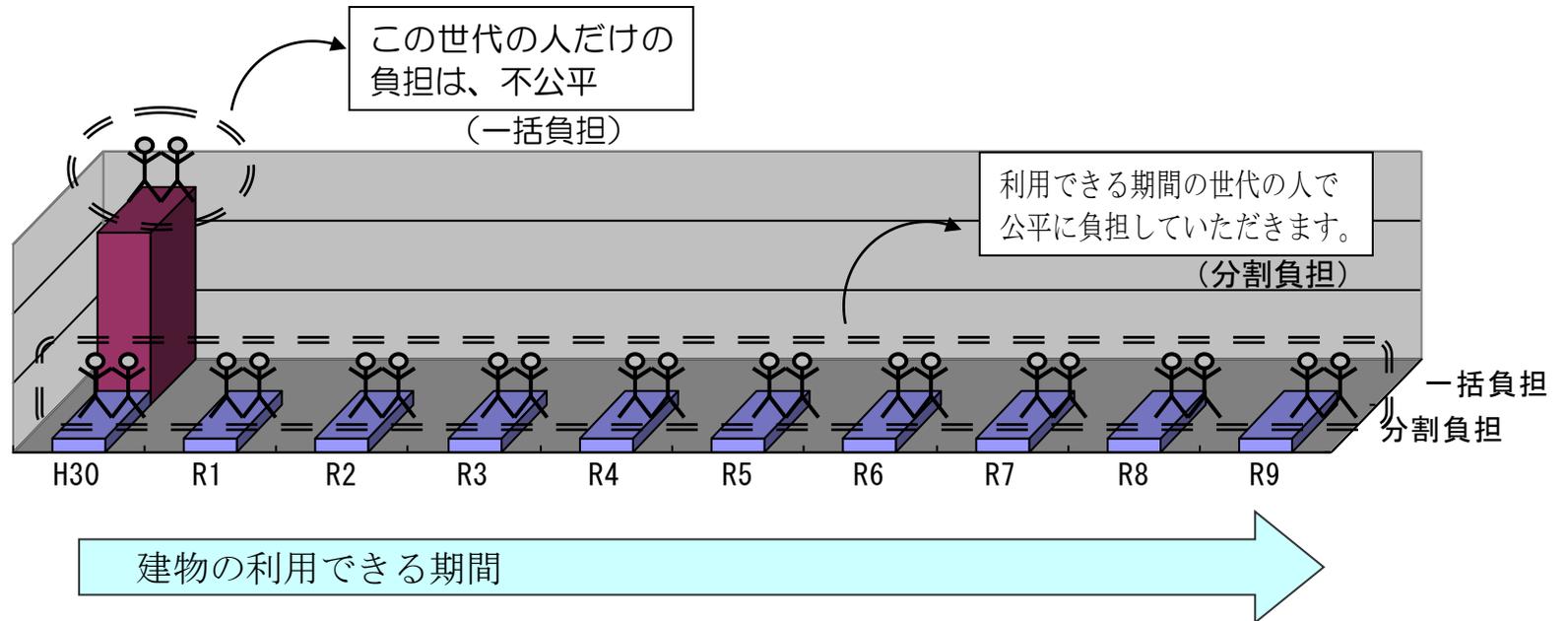


* : プライマリーバランスとは、借金を除いた収入の合計と、借金返済を除いた歳出の合計の収支。日本語では「基礎的財政収支」と訳されています。(表の単位：百万円)

Q18. なぜ、借金をするの？ 貯金があるのでしょ？

A18. 「資金繰り」という面もありますが、将来の市民のみなさんにも公平に負担していただくという面もあります。

小学校やリサイクルプラザなどの大型の施設は、その建設費に多額の経費がかかります。その資金を1年間でまかなうのは、とてもむずかしいので、資金繰りのために借金をします。
 また、これらの公共施設は、将来にわたって利用しますので、その時の納税者だけで負担することは、世代間の負担の公平という面からも適切ではありません。このことから借金をすることになります。



Q19. いろいろな事業をしているみたいだけど、いくつの事業をしているの？

A19. 普通会計で「652事業」行いました。(30年度決算)

小浜市の業務は、広範囲に渡り、事業の数は600以上になります。

予算書では、これらの事業を大分類(款)、中分類(項)、小分類(目)に分けて、事業を区別しています。

事業は、実施内容等により区別していますので、50万円以下の事業が181事業ある一方、2億円を超える事業も22事業あります。

《分類の数》

大分類 (款)	中分類 (項)	小分類 (目)	事業数
13に分類	36に分類	118に分類	652

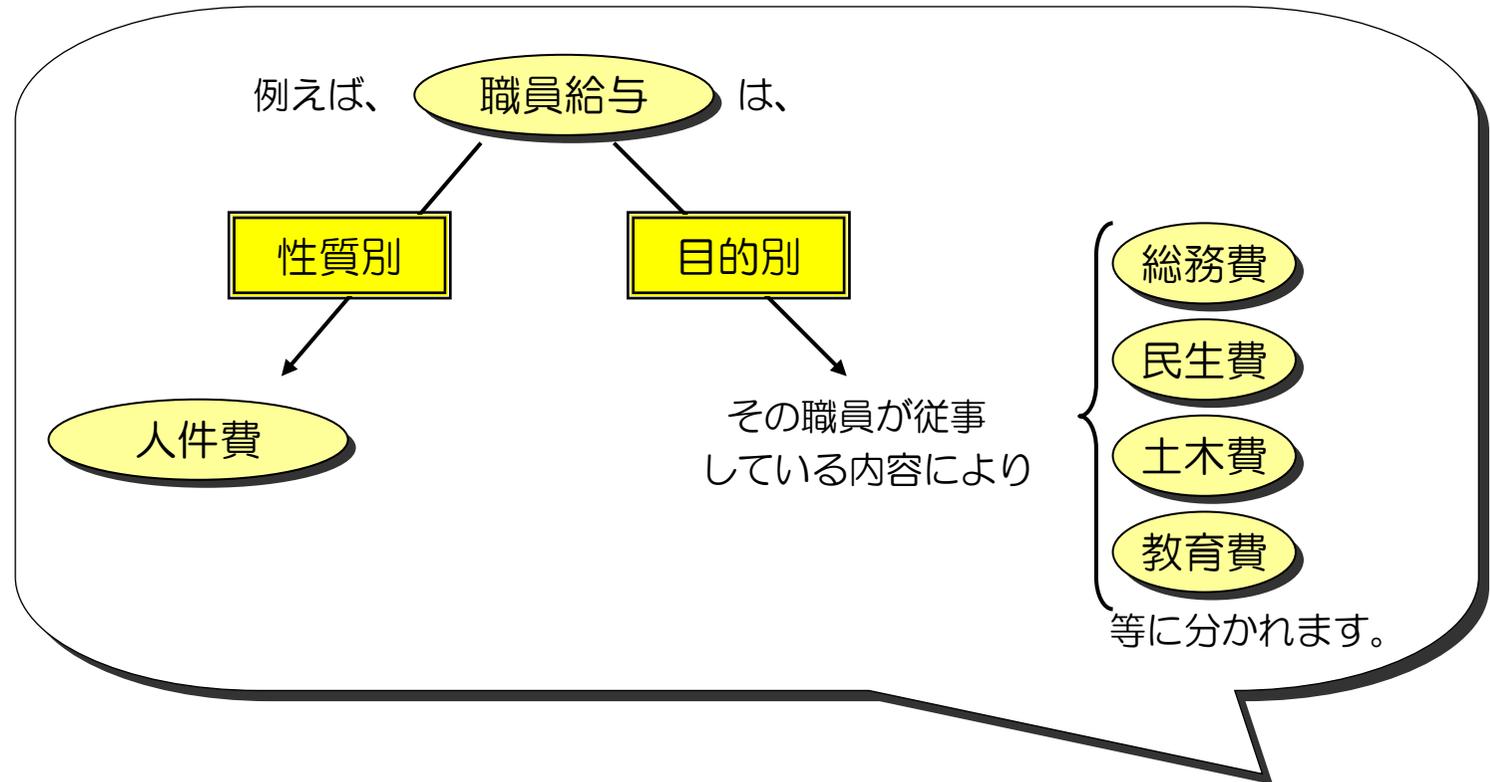
《事業の数》

0～50 万円	51～100 万円	101～200 万円	201～500 万円	501～ 1,000 万円	1,001～ 2,000 万円	2,001～ 5,000 万円	5,001万 ～1億円	1億円～ 2億円	2億円を 超える
181	62	76	99	65	49	56	25	17	22

Q20. 支出は、どのように分けているの？

A20. 「目的別」や「性質別」に分けます。

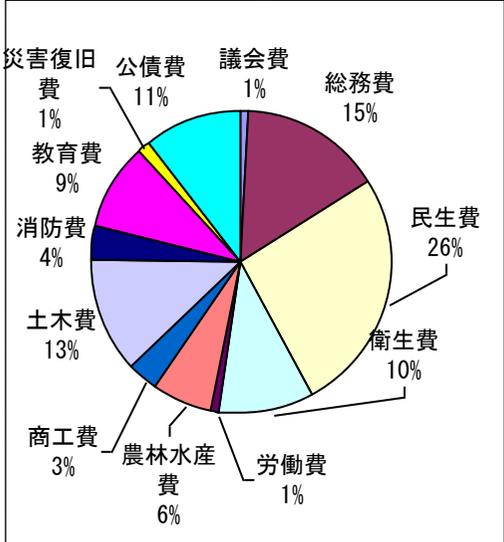
1年間に600以上の事業を行うので、分類して集計を行います。その分類に「目的別」と「性質別」があります。
目的別とは、使うお金が何を目的として使うか（例えば、[福祉]や[教育]、[産業]など）が分かるように区分しています。
性質別とは、使うお金がこういった性質を持っているか（例えば、[人件費]や[建設]、[借金の返済]など）が分かるように区分しています。



Q21. 「目的別」支出は、どのように分けているの？

A21. 「13」の目的に分けています。

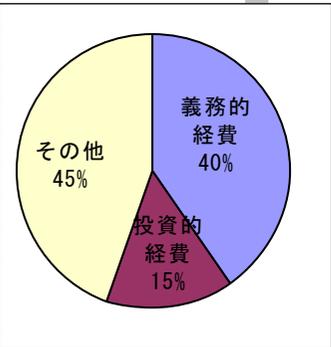
支出項目	内 容	金額(30年度決算額)
議会費	議員の報酬や議会事務局職員の人件費、議会運営などに係る経費です。	1億7,863万円
総務費	庁舎などの財産管理事務に関する経費、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費のほか、市税の賦課、戸籍住民基本台帳、選挙、統計調査、監査に係る経費です。	25億8,142万円
民生費	児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、生活保護、国民年金などの事業に要する経費です。国民健康保険や後期高齢者医療、介護保険特別会計への支出も含まれます。	43億162万円
衛生費	医療、公衆衛生などに係る経費と、ごみなどの一般廃棄物の収集・処理などに係る経費です。小浜病院への負担金も含まれます。	16億8,030万円
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などに係る経費です。	1億8,524万円
農林水産業費	農業・林業・水産業振興の事業に要する経費です。農業集落排水事業や漁業集落環境整備事業特別会計への支出も含まれます。	10億3,173万円
商工費	観光や商工業の振興、中小企業の育成、企業誘致などに係る経費です。	5億5,777万円
土木費	まちの基盤整備を図るため、道路、河川、住宅、公園などの各種公共施設の建設、整備を行うとともに、これらの施設の維持管理に係る経費です。	21億2,943万円
消防費	若狭消防組合への負担金などです。	5億8,873万円
教育費	教育の振興と文化の向上を図るため、学校教育、社会教育などの教育行政に係る経費です。	15億6,005万円
災害復旧費	台風や地震などの災害の被害を復旧する経費です。	2億2,926万円
こうさいひ 公債費	銀行などから借り入れた市債（借金）の返済金です。	17億6,000万円
予備費	緊急に支出を必要とする場合のための経費です。	0万円
合 計		167億8,418万円



※ 数値は、すべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計等が合わない場合があります。

Q22. 「性質別」支出は、どのように分けているの？

A22. 大きく「3区分」に、細かく「14区分」に分けています。



支出項目	内 容	金額(30年度決算額)
義務的経費	これらの費用は、毎年必ず支出しなければなりません。	67億4,582万円
人件費	職員の給料、議員の報酬などにかかる費用です。	25億3,832万円
^{ふじよひ} 扶助費	生活保護費、障がい者支援費などの福祉や医療にかかる費用です。	24億4,752万円
^{こうさいひ} 公債費	過去に借入れた借金（収入の部の「市債」）の返済にかかる費用です。	17億5,998万円
投資的経費	学校などの公共施設の建設、道路や公園の整備・建設など、都市基盤の整備にかかる費用です。	25億1,866万円
補助事業	国の補助をもらいながら行う建設事業です。	15億949万円
単独事業	国の補助をもらわずに行う建設事業です。県の補助だけがあるものも、ここに含まれます。	7億3,839万円
県営事業負担金	県の事業に対して負担するものです。	4,152万円
災害復旧事業	台風などの災害により壊れた公共施設や道路など直す事業です。	2億2,926万円
その他の経費	後年度に形を残さない性質の費用や上記以外の経費のことです。	75億1,970万円
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、施設管理委託料などです。	22億255万円
維持補修費	施設の維持管理のための費用です。	1億7,998万円
補助費等	一部事務組合やその他の団体などに対する負担金や補助金などです。	22億9,791万円
積立金	各種基金（貯金）への積立です。	4億8,917万円
投資及び出資金・貸付金	投資や出資、他の団体に貸し付けるお金です。	2億9,509万円
^{くりだしきん} 繰出金	特別会計予算への繰出で、特別会計では収入になります。	20億5,500万円
予備費	緊急に支出を必要とした場合のために予定しています。	0万円
合 計		167億8,418万円

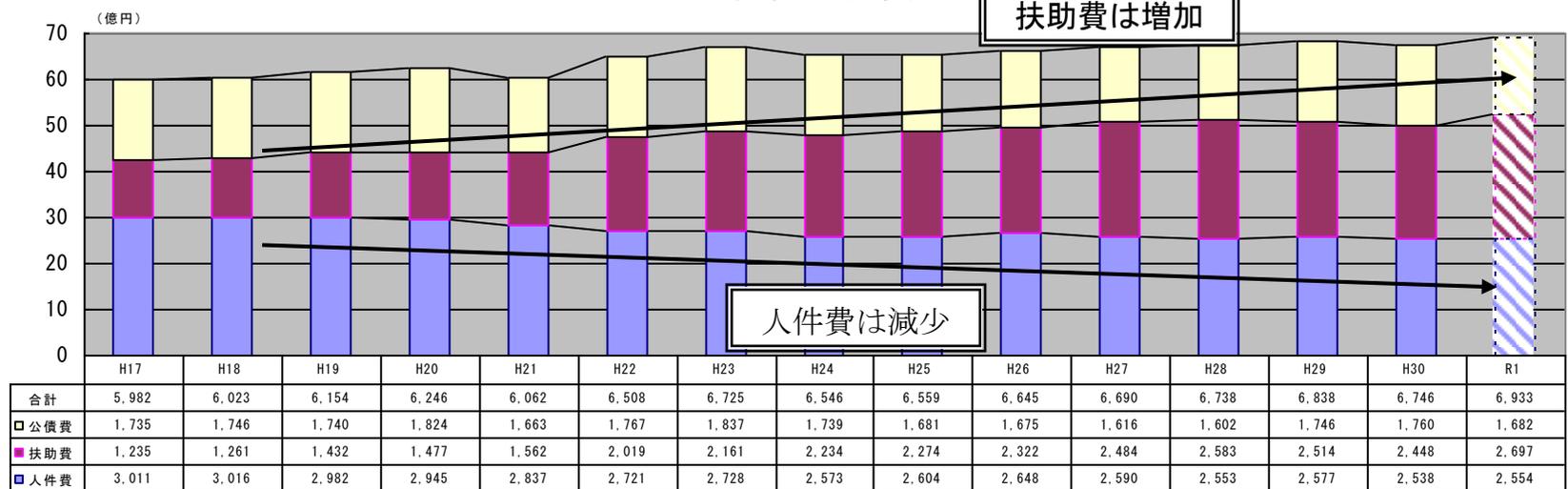
※ 数値は、すべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計等が合わない場合があります。

Q23. 義務的経費って、増えているの？

A23. 人件費は減少、借金返済（公債費）は平成 23 年度以降減少していますが、^{ふじょひ} 扶助費の増加により、全体では増加の傾向にあります。

義務的経費は人件費、扶助費、公債費の合計です。人件費は、減少傾向でしたが、27 年度以降横ばいとなっています。扶助費は、児童（子ども）手当や医療費助成の拡充、障害福祉サービスの利用増などで増加の一途をたどっています。借金の返済（公債費）は平成 16 年度に 4 億円の満期一括償還があったので、平成 16 年度に増えました。その後、平成 23 年度をピークに減少していましたが、29 年度・30 年度は繰上償還の実施により増加しました。

義務的経費



(表の単位：百万円)

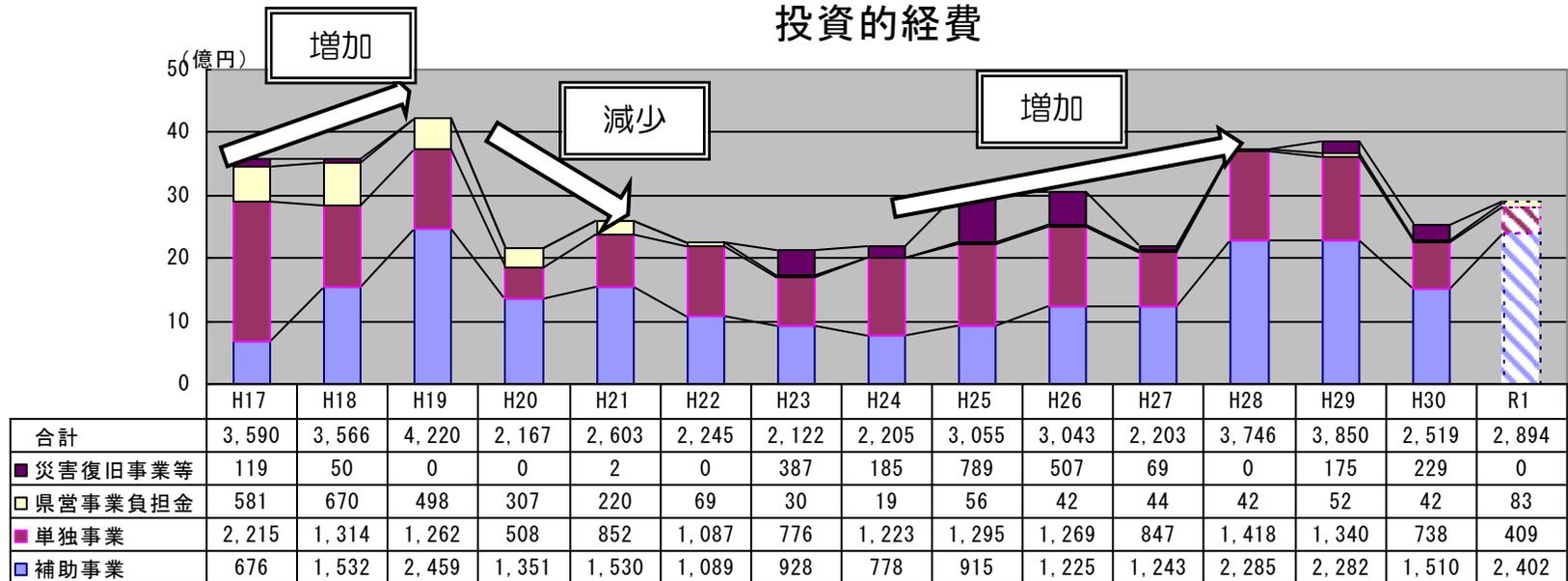
※ 数値は、すべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計等が合わない場合があります。

Q24. 公共施設建設や道路・公園整備は、増えているの？

A24. 20年度から減少しておりましたが、25年度以降増加しました。

平成 17 年度から本格的に着手した小浜小学校、リサイクルプラザが、平成 19 年度に完成しました。そのため、投資的経費は、平成 19 年度まで大きく増加しましたが、平成 20 年度に減少し、それ以降はほぼ横ばいで推移していました。しかし、平成 25 年度には、今富公民館の建設や小中学校耐震化、防災行政無線の整備や台風 18 号の被害に伴う災害復旧などにより大きく増加し、それ以降も小浜美郷小学校建設事業や小浜地区中・西部地域の観光まちなみ整備等により、増加を続けました。その後平成 30 年度に小浜美郷小学校が完成したため再び減少に転じました。

投資的経費



小浜小学校、リサイクルプラザ

山手団地

今富公民館

台風 18 号災害復旧

小浜美郷小学校

(表の単位：百万円)

※ 数値は、すべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計等が合わない場合があります。

貯金の残高

Q25. 貯金を取り崩しているけど、残高はどうなっているの？

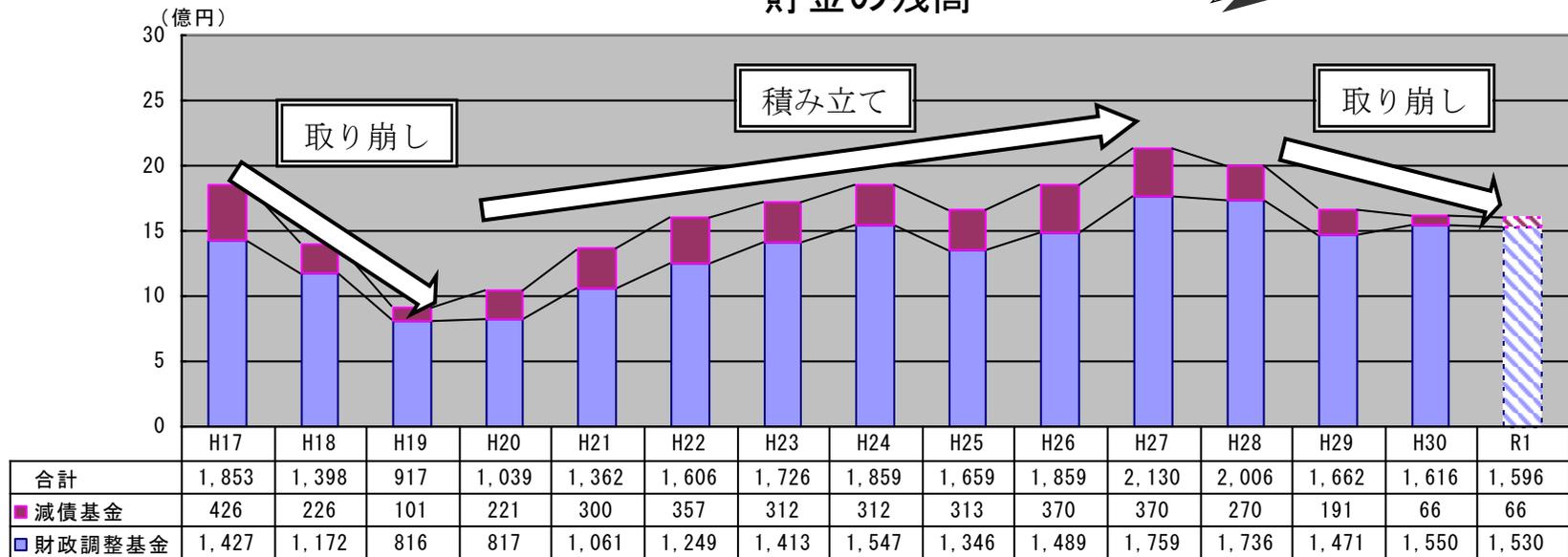
A25. 20年度以降積み立ててきましたが、28年度から減少に転じています。

平成16年度から大型プロジェクトのために取り崩しを行い、平成19年度末には、平成以降もっとも残高が少なくなりました。

平成20年度以降は、台風18号の災害復旧のために取り崩した平成25年度を除いて、各基金に積み立てておりましたが、平成28年度以降は小浜美郷小学校建設等の大型事業に対応するため、平成29年度・30年度は起債の繰上償還のため、基金の取崩しが続いています。

20年度から
増えてきたね！
28年度から
また減ってきたね！

貯金の残高



(表の単位：百万円)

※ 数値は、すべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計等が合わない場合があります。

借金の残高

借金残高

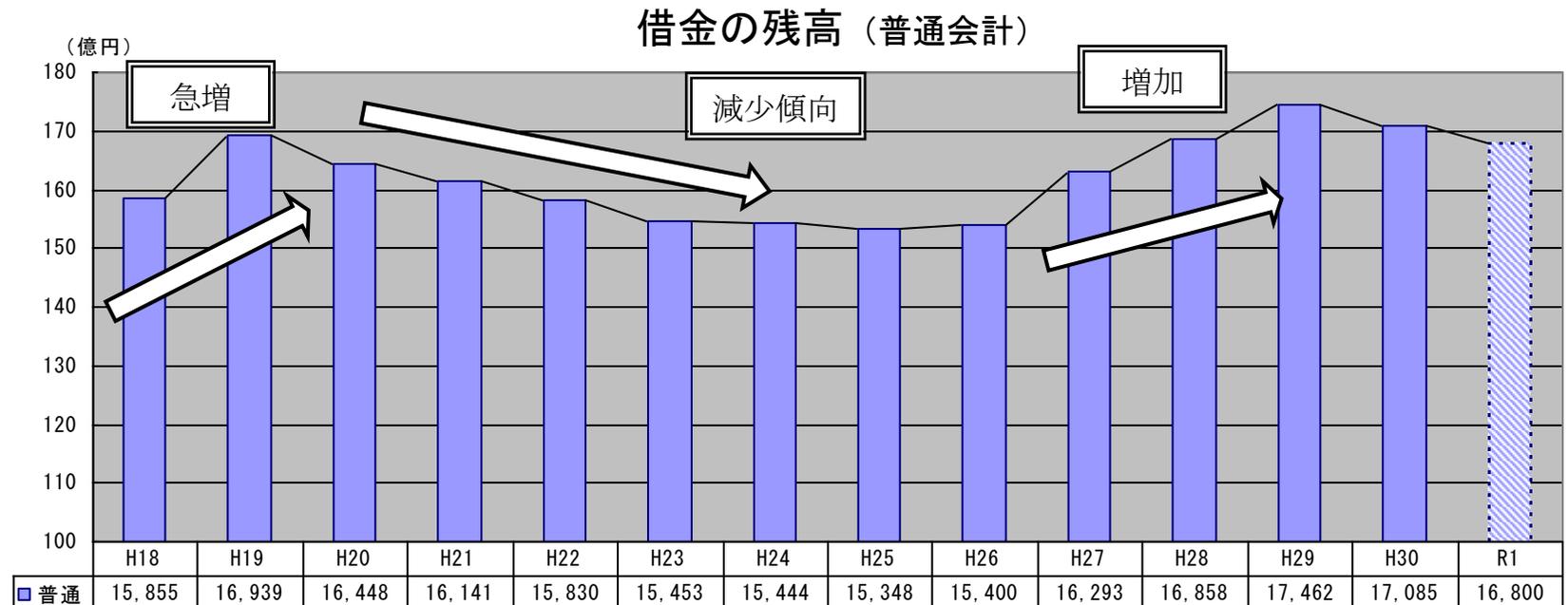
P. 26

Q26. たくさんの借金をしているみたいだけど、借金の残高は？

A26. 20年度以降減少傾向でしたが、26年度から再び増加に転じています。

平成17年度以降、小浜小学校、リサイクルプラザ建設のため、借金が増えました。

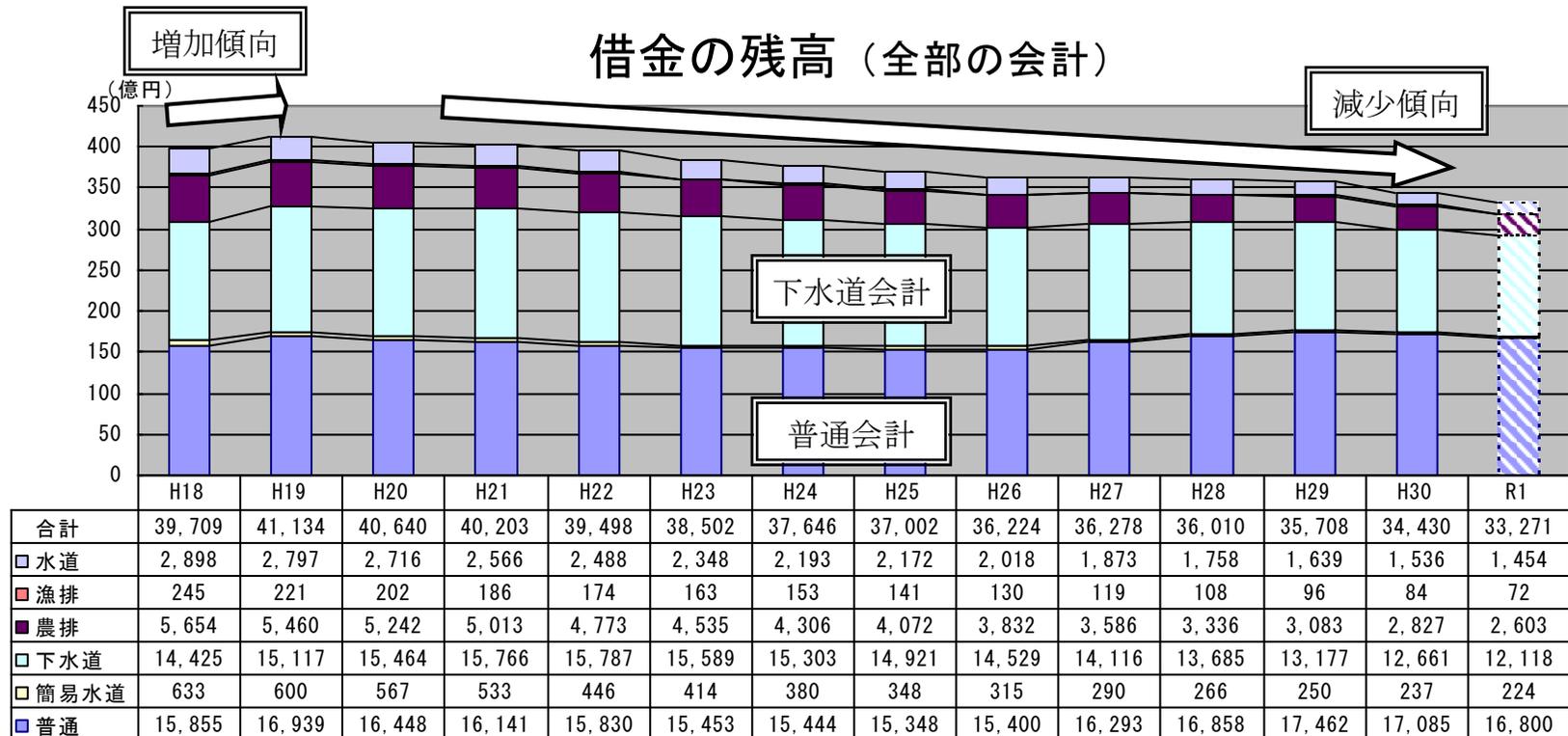
平成20年度以降は借金を抑制することで残高は減少しましたが、平成26年度以降は小浜美郷小学校建設事業や小浜地区中・西部地域の観光まちなみ整備、土地開発公社清算やクリーンセンター施設の改修事業などにより再び増加に転じています。



(表の単位：百万円)

Q27. 他の会計を合わせた借金の残高は？

A27. 普通会計は 26 年度以降増加傾向にあります、全体では 20 年度以降減少傾向にあります。



(表の単位：百万円)

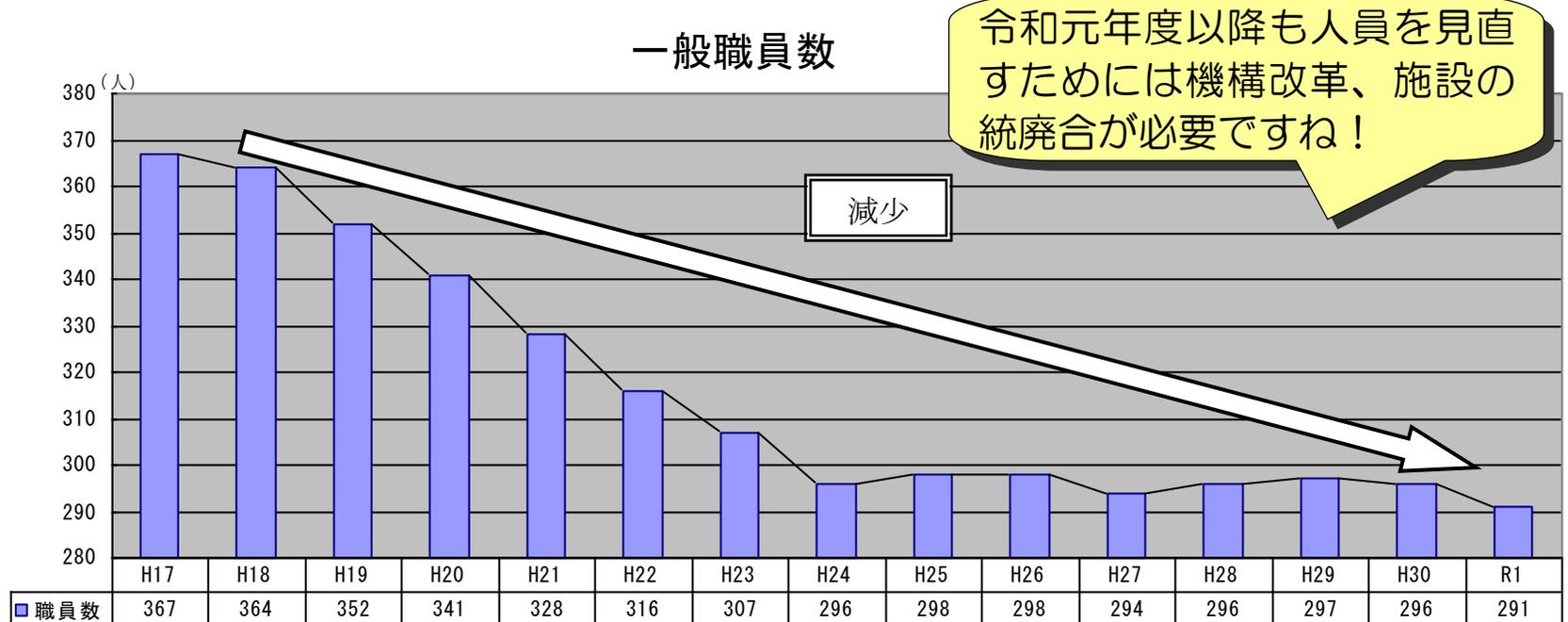
※ 数値は、すべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計等が合わない場合があります。

Q28. 職員は、何人いるの？

A28. 15年間で76人減っています。今後もスリム化を図ります。

平成17年度に367人の一般職員がいましたが、令和元年度は291人です。昭和60年度には約480人の職員がいましたが、その頃から比べると190人減っています。

行財政改革大綱の目標値である平成27年度末の職員数296人は達成しましたが、今後も市民サービスに支障をきたさないよう、スリム化を図り、コンパクトな市役所を目指します。



(※1)

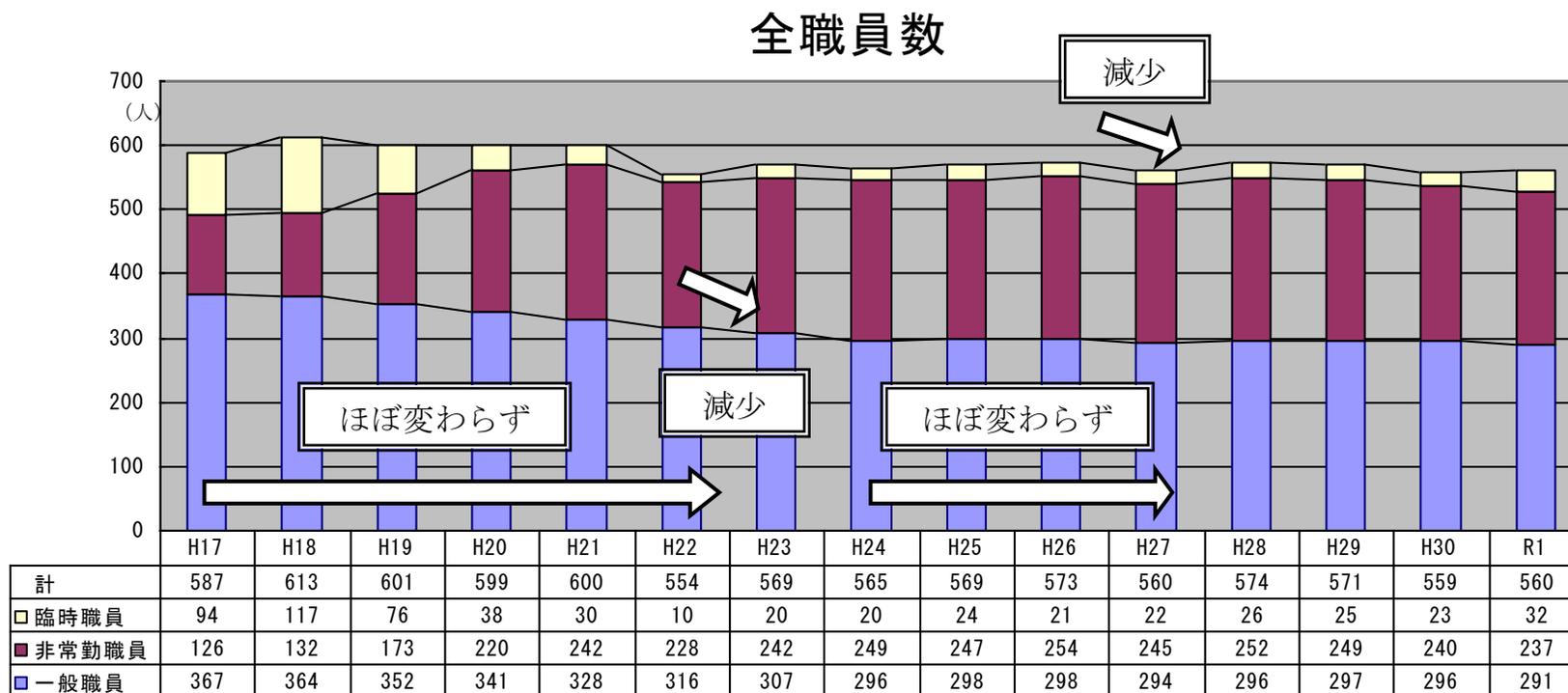
※各年度4月1日の職員数
*1: 再任用職員を除く。

Q29. 臨時職員や非常勤職員を含めると、どうなるの？

A29. 21年度までほぼ横ばいでしたが、22・27年度に減少しました。

平成21年度までは、ほぼ600人程度で、一般職員が減った分を非常勤職員や臨時職員のみなさんにお世話になっていました。

平成22年度に保育園の民営化や小浜ロジの閉鎖で減少し、その後はほぼ横ばいとなっています。平成27年度も保育園の民営化により減少しました。



(*1)

※各年度4月1日の職員数
*1: 再任用職員を除く。

Q30. 財政指標には、どんなものがあるの？

A30. いろんな指標がありますが、主なものは次のとおりです。

1. 実質公債費比率

11.0%

(H30 決算)

市の借金返済は、普通会計だけでなく、特別会計や他の団体の借金返済分として、市が負担するものもあります。この数値が高いと借金返済に追われている、ということになります。数値が18%以上になると、借金するために県の許可が必要となり、25%以上になると一部の借金ができなくなります。

2. 将来負担比率

131.6%

(H30 決算)

平成20年度から導入された指標です。「1.実質公債費比率」は過去3ヵ年において市が負担した借金返済の割合です。これに対し、将来負担比率では普通会計や特別会計、他団体の借金残高に対する今後の負担見込み、職員の退職手当や第3セクター等の負担見込み等、現時点で将来負担する可能性のある額の割合を示したものです。この値が350.0%を超えると、早期健全化団体になります。

3. 経常収支比率

98.9%

(H30 決算)

決まって入ってくる一般財源（何にでも使えるお金）のうち、決まって支払わなければならない割合を示したものです。「財政の柔軟性」をあわらしています。家計にたとえば、食費、住居費、光熱水費などのような、毎月確実に支出される経費が、給料のような毎月決まって得られる収入に占める割合のことです。この値が小さいほど、みなさんのニーズに対応できる余裕があるということです。経常収支比率の適正な値は、70%~80%といわれています。

4. 実質収支

5.0 億円の黒字

(H30 決算)

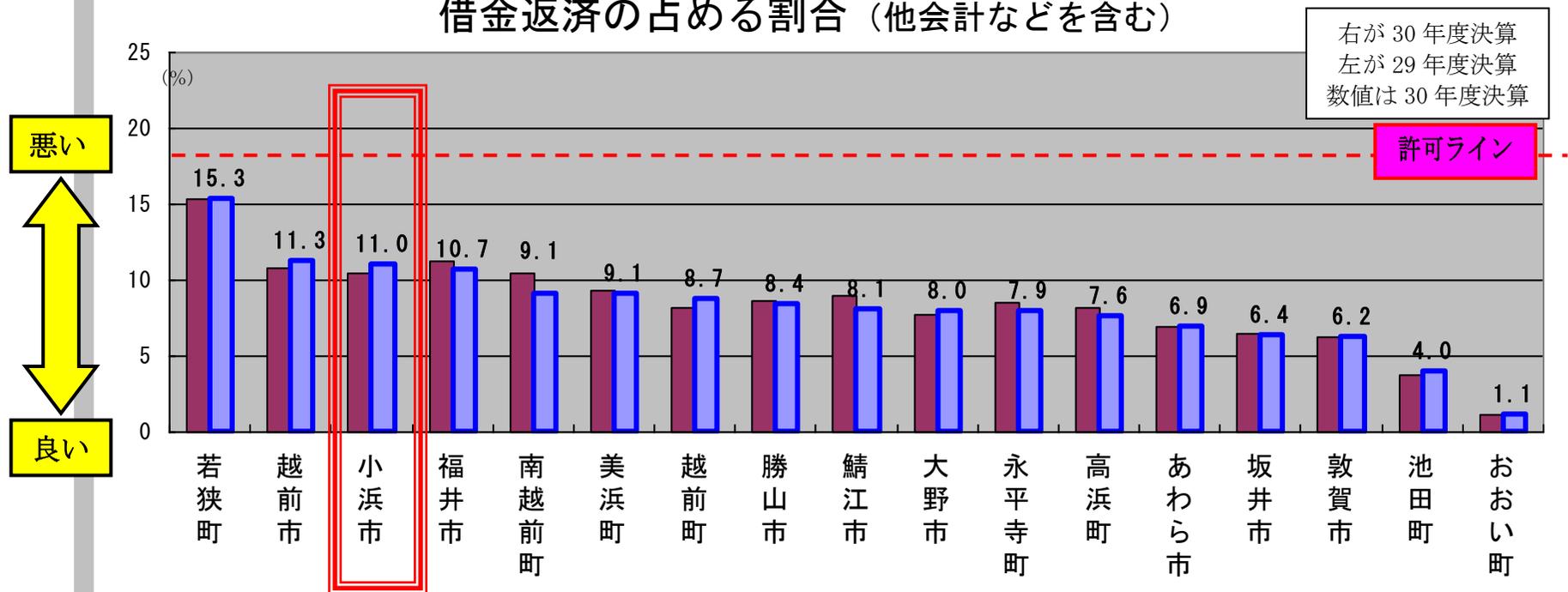
その年の収入と支出の差額から次の年に回さなければならない金額を引いたものです。この数値がマイナスになると「赤字」となります。小浜市の場合、この赤字額が標準的な財政規模の13.54%（約12億円）を超えると、早期健全化団体となります。

Q31. 他の会計などを含めた借金返済は、どの程度占めているの？

A31. 数値は上昇しており、県内では3番目です。

この値が18%以上になると、借金をするために、県知事の許可が必要となりますが、下回っています。
過去の大型プロジェクトの借金返済のピークを迎え、小浜病院の設備投資の借金に対する負担が増えた平成23年度は、単年度の数値は若干上昇しましたが、3年平均の数値は平成20年度以降改善を続けてきました。しかし、平成27年度以降は、土地開発公社の清算や小浜美郷小学校の建設、中心市街地の整備などの借金の返済が増えており、単年度および3年平均の比率は上昇しています。

借金返済の占める割合（他会計などを含む）

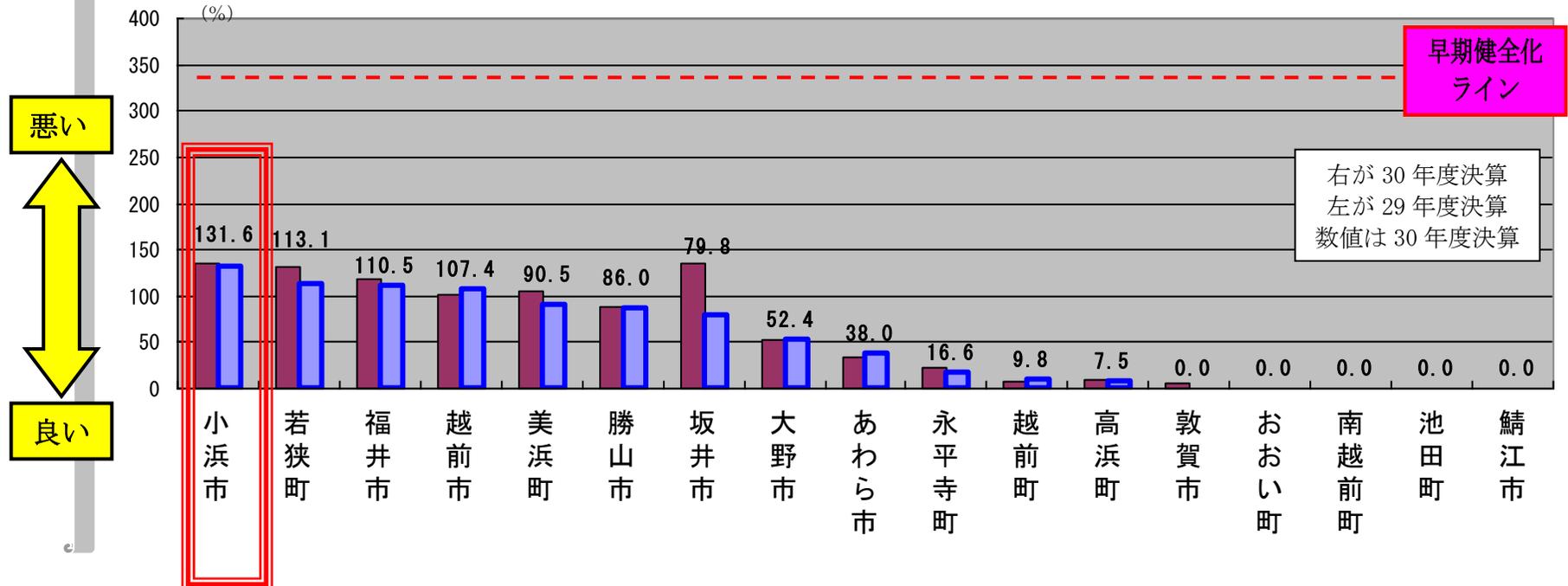


Q32. 将来の負担は、どれくらいなの？

A32. 約338億円です。（※基金等の充当可能財源を考慮しない場合）

将来負担比率が350%以上になると、早期健全化団体となり財政健全化計画の策定が必要となりますが、大きく下回っていることから健全な段階にあると言えます。しかし、本市は、一般会計や下水道事業特別会計、病院組合の借金の残高が高く、県内で比較すると高い水準にあります。平成20年度以降は、借金の抑制により、数値は改善されてきましたが、26年度以降一般会計で大型事業に伴う借入の増加により、数値は悪化しています。また、一部事務組合の経営状況にも左右されるため、今後もその動向に注視していきます。

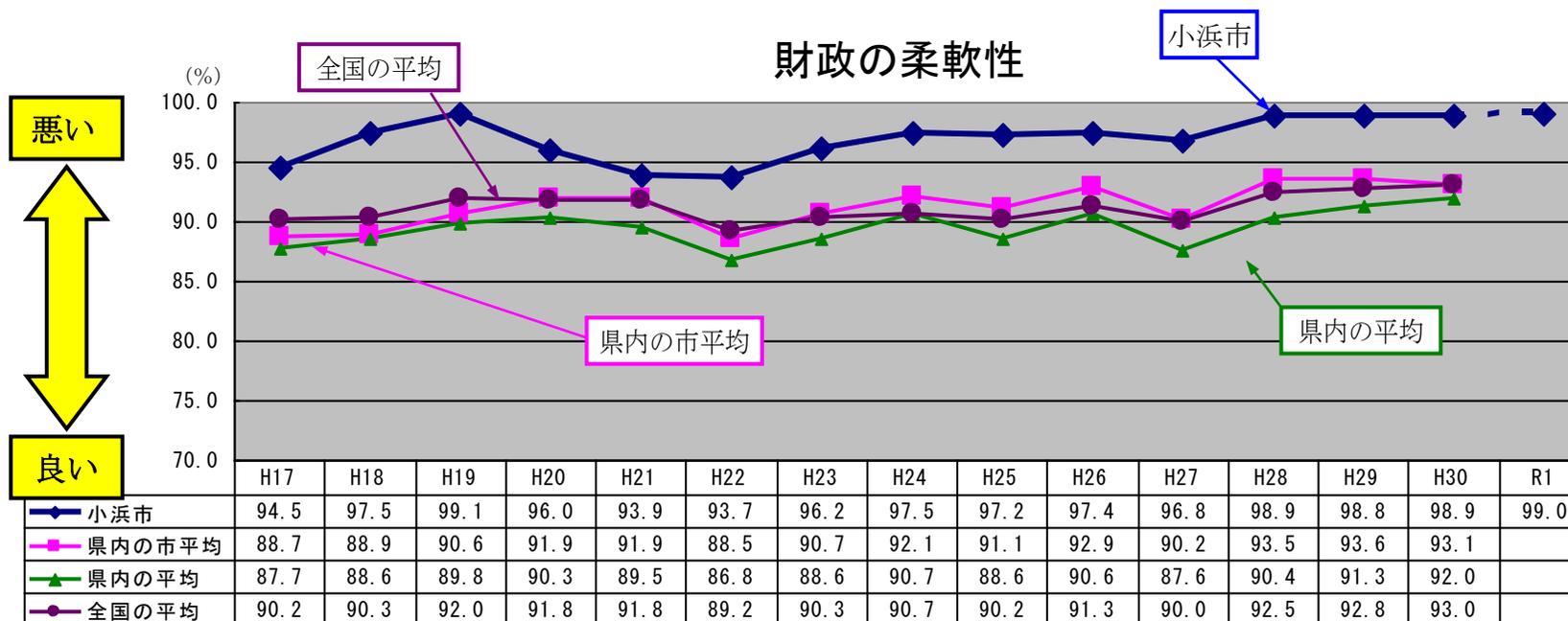
将来負担する額の割合（組合、第3セクターなどを含む）



Q33. 財政の柔軟性は、どうなの？

A33. 改善傾向でしたが、23年度以降、硬直化が進んでいます。

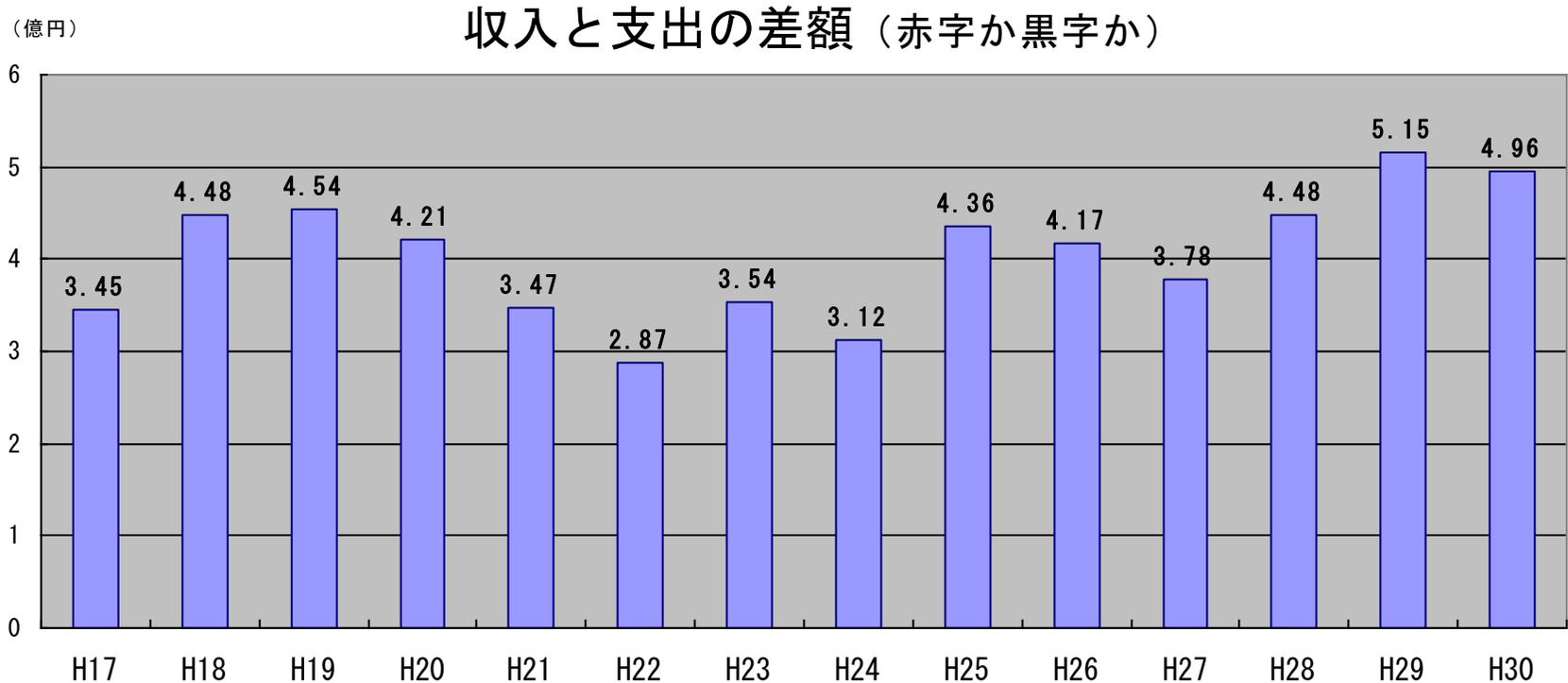
平成 16 年度に行った 4 億円の満期一括償還のため、98.9%という高い数値となり、硬直化しました。さらに、平成 19 年度には国保や介護、下水道会計への繰出金の増加などにより、99.1%と大幅に上昇しました。平成 20 年度からは、交付税の増加などにより改善しましたが、23 年度以降は、市税や交付税が伸び悩む一方で社会保障経費に係る扶助費や繰出金、物件費の増加などにより硬直化が進んでいます。



Q34. 「赤字」「黒字」の表現では、どうなっているの？

A34. ずっと、黒字です。

この値が標準財政規模の 13.54% (約 12 億円) を超えると早期健全化団体となりますが、それぞれの 1 年間の支出は、すべてその 1 年間に収入された金額 (貯金の取崩し含む) でまかなうことができます。

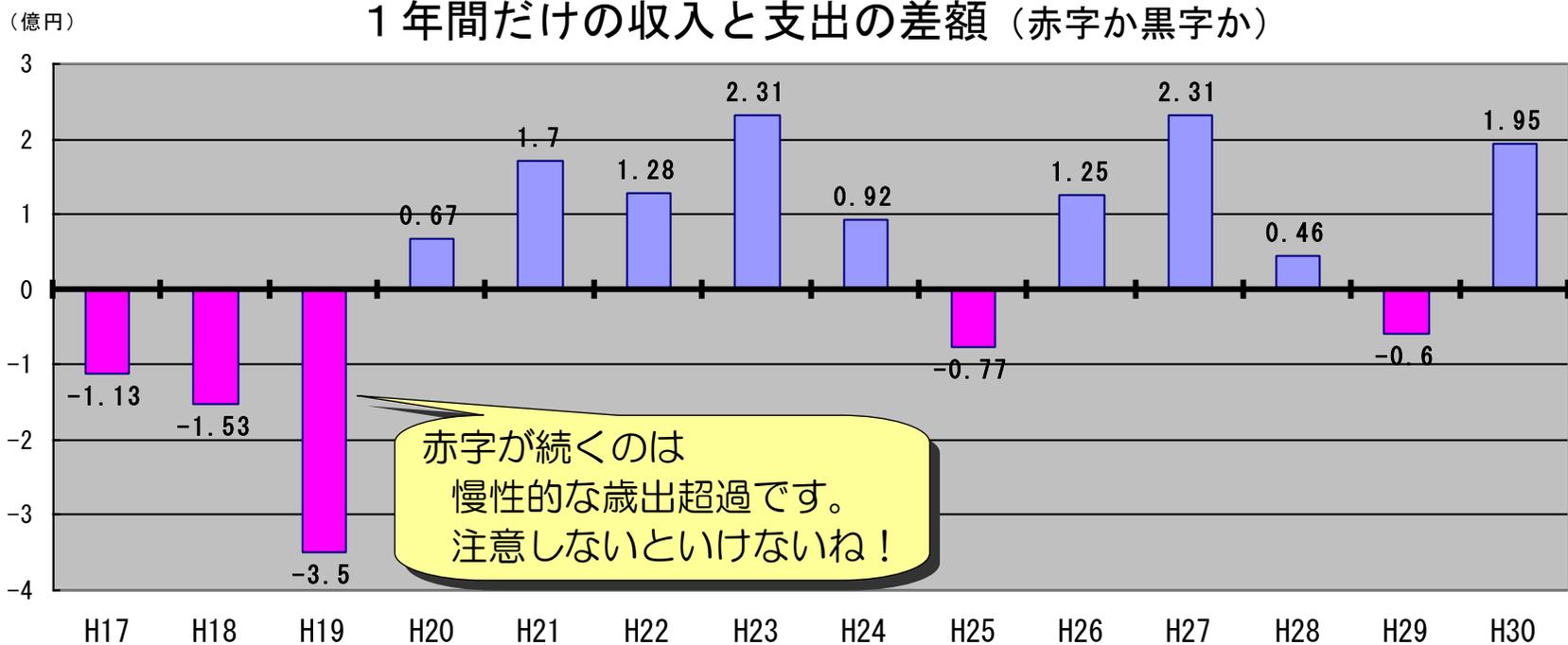


Q35. 純粹な1年間の収支は、「赤字」？「黒字」？

A35. 20年度以降、25・29年度を除き黒字を維持しています。

この指標は、今年度と前年度の実質収支の差に、実質的な黒字の要素（貯金の積立や借金の繰り上げ返済）を加えた数値から、赤字の要素（貯金の取り崩し）を差し引いた実質的な1年間の収支です。

平成20年度以降、台風18号や台風21号の災害復旧のために貯金を取り崩した25・29年度を除いて黒字となっています。



家庭に置換え編

家庭での収入

P. 36

「〇〇億円」って言われても、…。もっと、庶民感覚で言ってよ！

Q36. 収入項目を年間 500 万円で生活する家庭で例えると？

A36. 少し無理がありますが、単純に置換えると…。(30 年度 普通会計 決算額)

収入項目	年額	月額 (年収÷12)	備考
基本給与*	105 万 4 千円	87,833 円	市税
諸手当*	6 万 6 千円	5,500 円	分担金・負担金
パート収入*	8 万 8 千円	7,333 円	使用料・手数料
銀行からの借入金	36 万 1 千円	30,084 円	市債
貯金の取り崩し*	15 万 2 千円	12,667 円	繰入金
親からの仕送り	168 万 7 千円	140,583 円	地方交付税・譲与税
親から使い道を決められた仕送り	110 万 6 千円	92,167 円	国・県支出金
臨時収入*	48 万 6 千円	40,500 円	その他
合 計	500 万 0 千円	416,667 円	

*は、自分で稼ぐお金

※ 数値は、すべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計等が合わない場合があります。

月收入約 42 万円ありますが、その中身は、自分で稼ぐお金(*)は約 15 万円です。親からの仕送りは約 23 万円で月収の半分以上を占めています。また、約 3 万円の借金をしています。

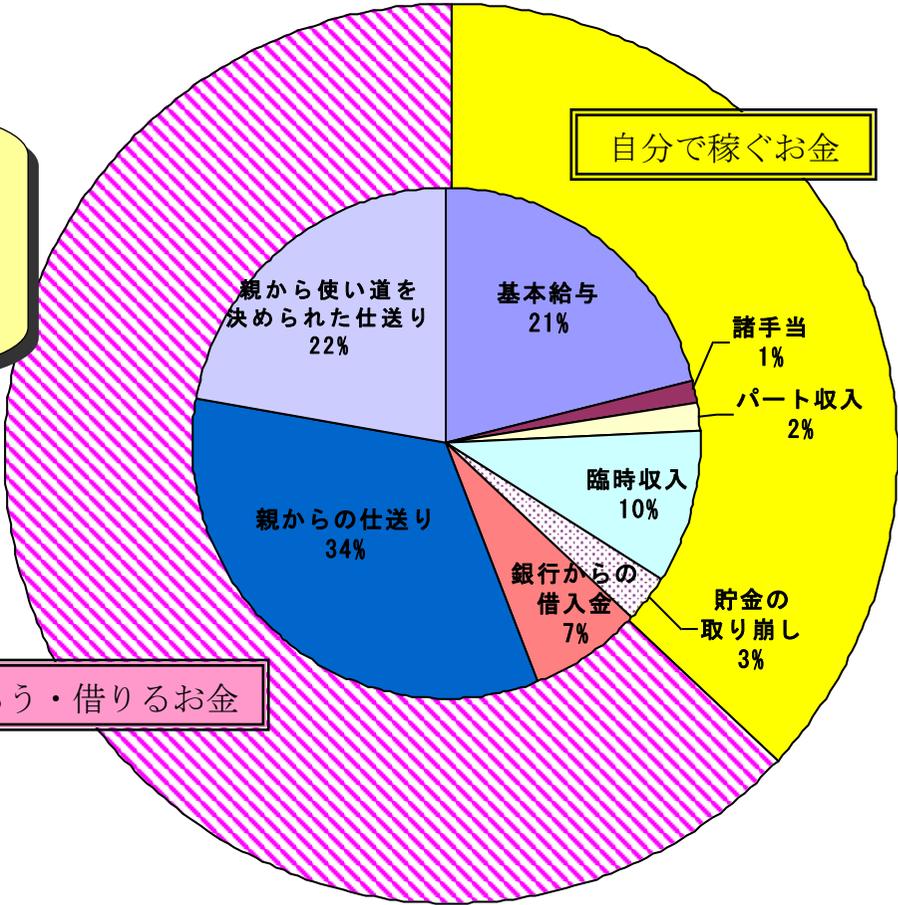
今後は、親からの仕送りが減っていくことが予想されます。基本給与や諸手当、パート収入の増額に期待したいのですが、なかなかむずかしいところです。

収入が減れば、当然、支出を減らしていかなければなりません。その減らし方にも工夫が必要です。

Q36. 収入項目を年間 500 万円で生活する家庭で例えると？(続き)

A36. 円グラフにしてみると…。(30 年度 普通会計 決算額)

小浜市は、親（国・県）からの仕送りに頼っていることがよくわかるね。
(半分以上を頼っています。)



他からもらう・借りるお金

自分で稼ぐお金

Q37. 支出項目を年間 500 万円で生活する家庭で例えると？

A37. これも、少し無理がありますが、単純に置換えると…。(30 年度普通会計決算額)

支出項目	年額	月額 (年額÷12)	備考
食費	75 万 6 千円	63,000 円	人件費
医療費	72 万 9 千円	60,750 円	扶助費
光熱水費・通信費	65 万 6 千円	54,667 円	物件費
家の増改築	75 万円	62,500 円	投資的経費
家の修繕	5 万 4 千円	4,500 円	維持補修費
交際費	68 万 5 千円	57,083 円	補助費等
子供の仕送り	61 万 2 千円	51,000 円	繰出金
ローン返済	52 万 4 千円	43,667 円	公債費
その他	23 万 4 千円	19,500 円	積立金、貸付金、投資及び出資金、予備費
合 計	500 万 0 千円	416,667 円	

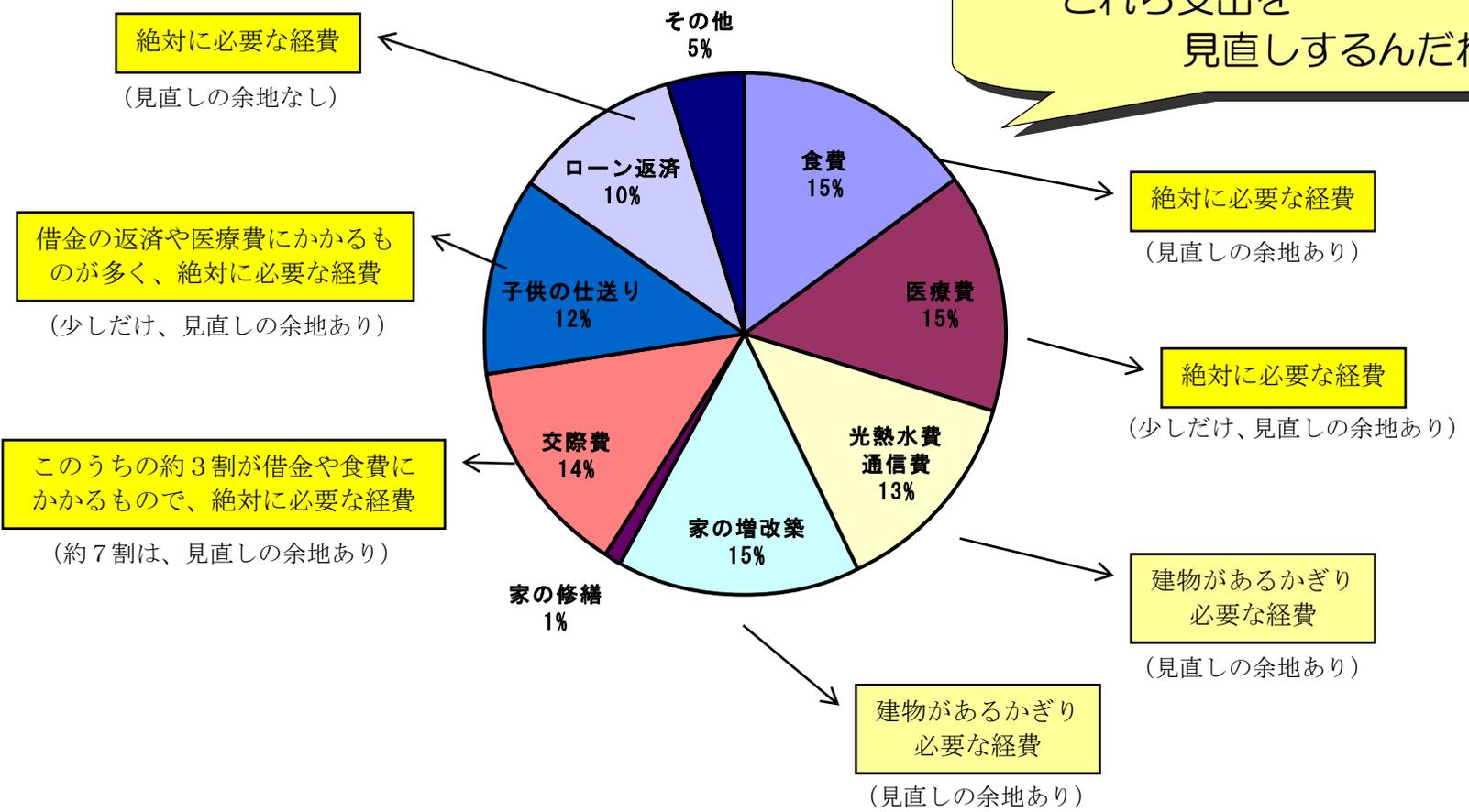
※ 数値は、すべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計等が合わない場合があります。

平成 30 年度では食費、医療費、家の増改築、交際費に約 6 万円、光熱水費・通信費、子供の仕送りにそれぞれ約 5 万円かかっています。収入が伸びなければ、支出を抑えていかなければなりません。

Q37. 支出項目を年間 500 万円で生活する家庭で例えると？(続き)

A37. 円グラフにしてみると…。(30 年度 普通会計 決算額)

「入るを計って出るを制す」
これら支出を
見直しするんだね!



全国比較

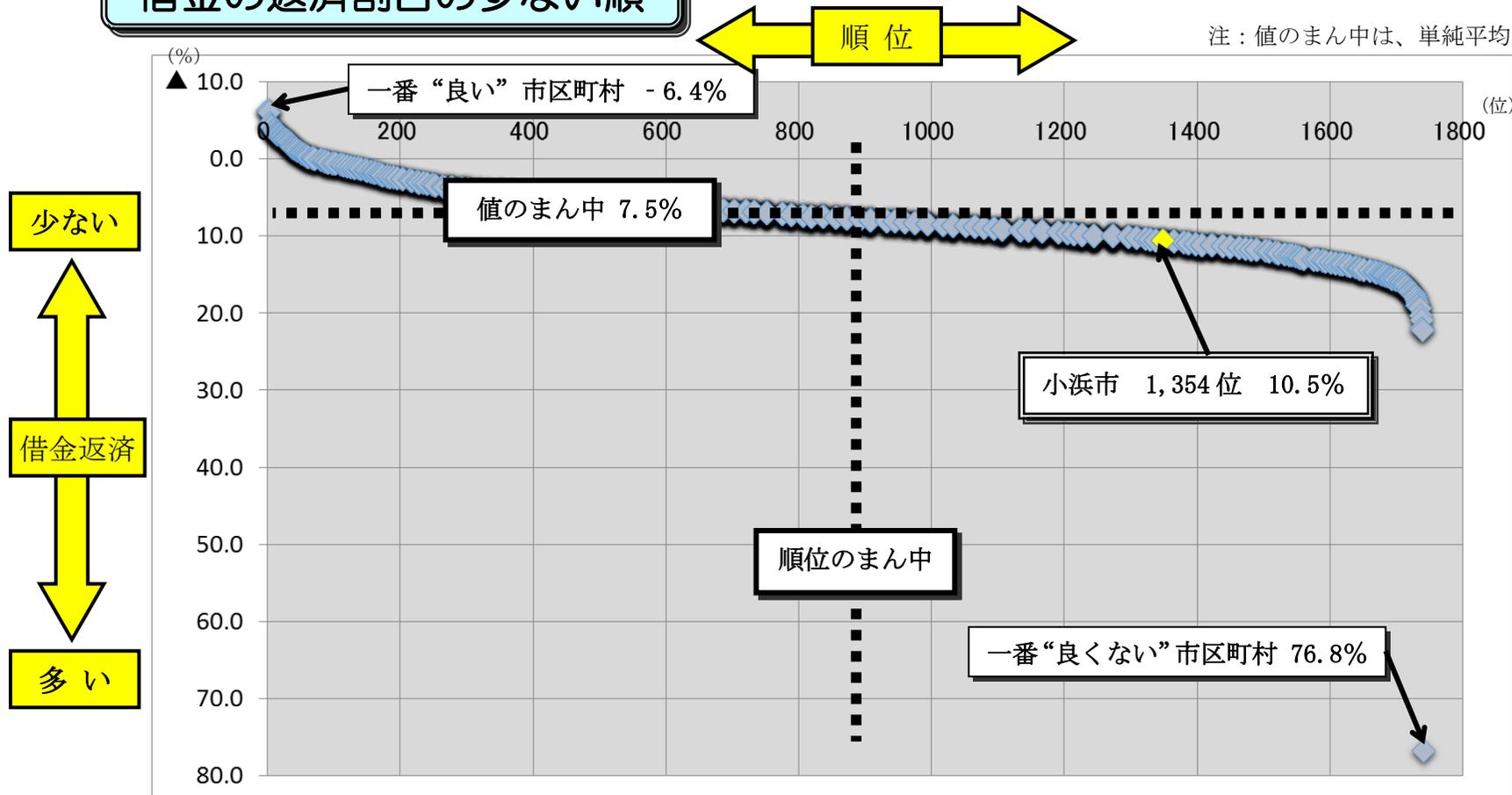
30年度決算の値が総務省から出ていないので、29年度の値を使いました。

実質公債費比率順位

Q38. 全国比較で、小浜市の借金返済額は、どの程度？

A38. 1,741市区町村の中で順位をつけてみると…。(29年度 普通会計決算)

借金の返済割合の少ない順

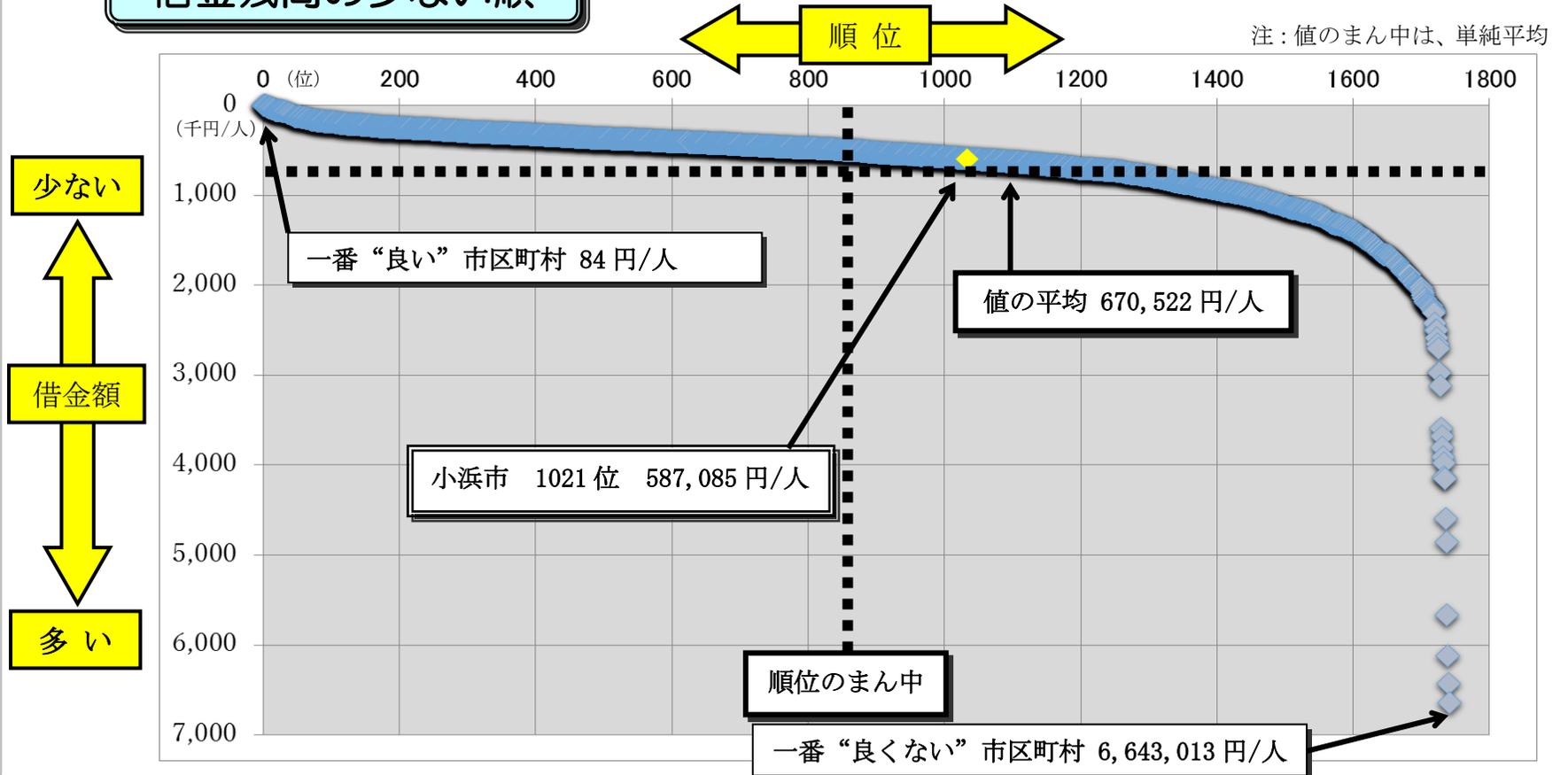


住民1人あたりの借金残高

Q39. 全国比較で、小浜市の借金残高は、どの程度？

A39. 1,741 市区町村の中で順位をつけてみると…。(29年度 地方債残高)

借金残高の少ない順

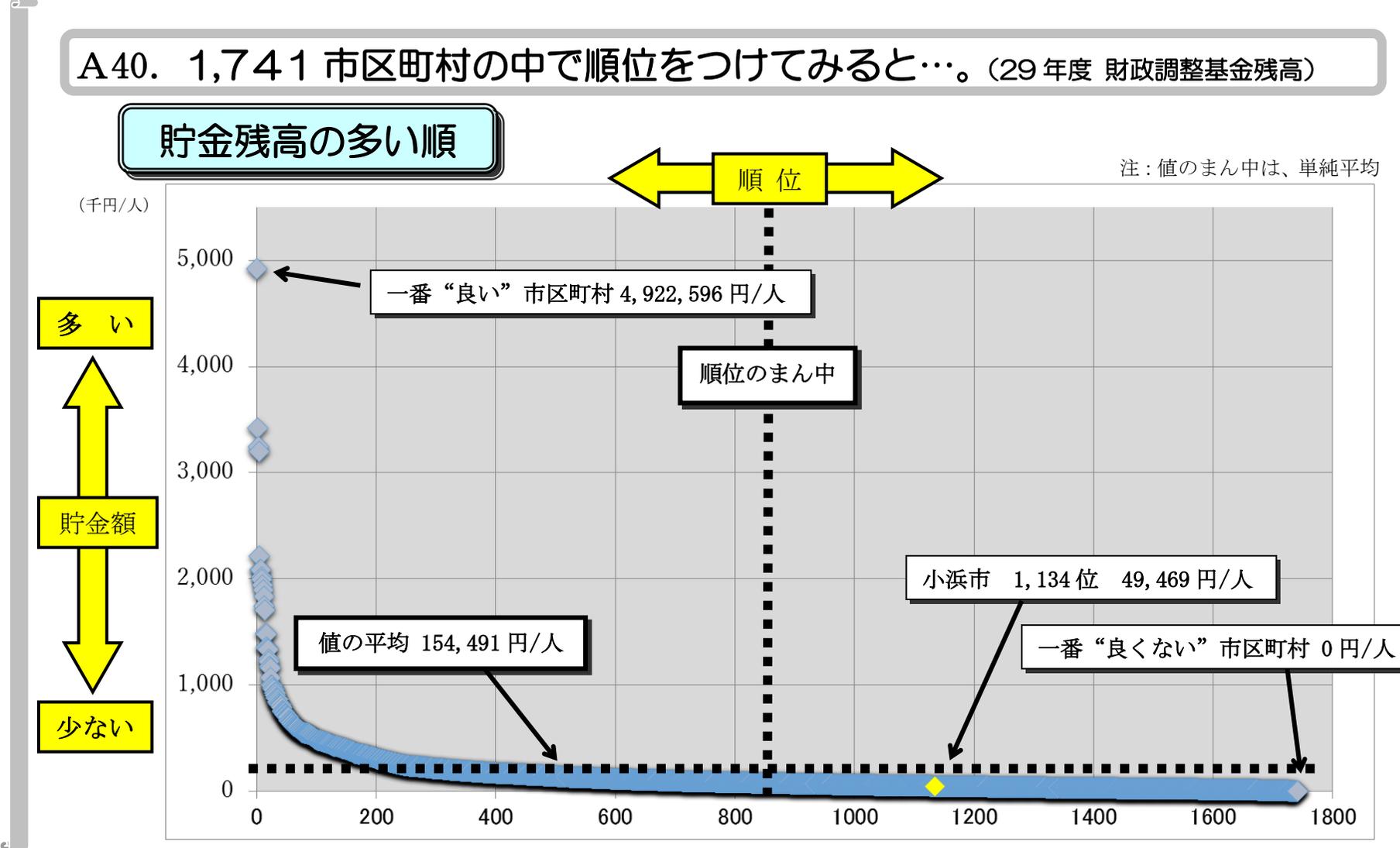


住民1人あたりの貯金残高

Q40. 全国比較で、小浜市の貯金残高は、どの程度？

A40. 1,741 市区町村の中で順位をつけてみると…。(29年度 財政調整基金残高)

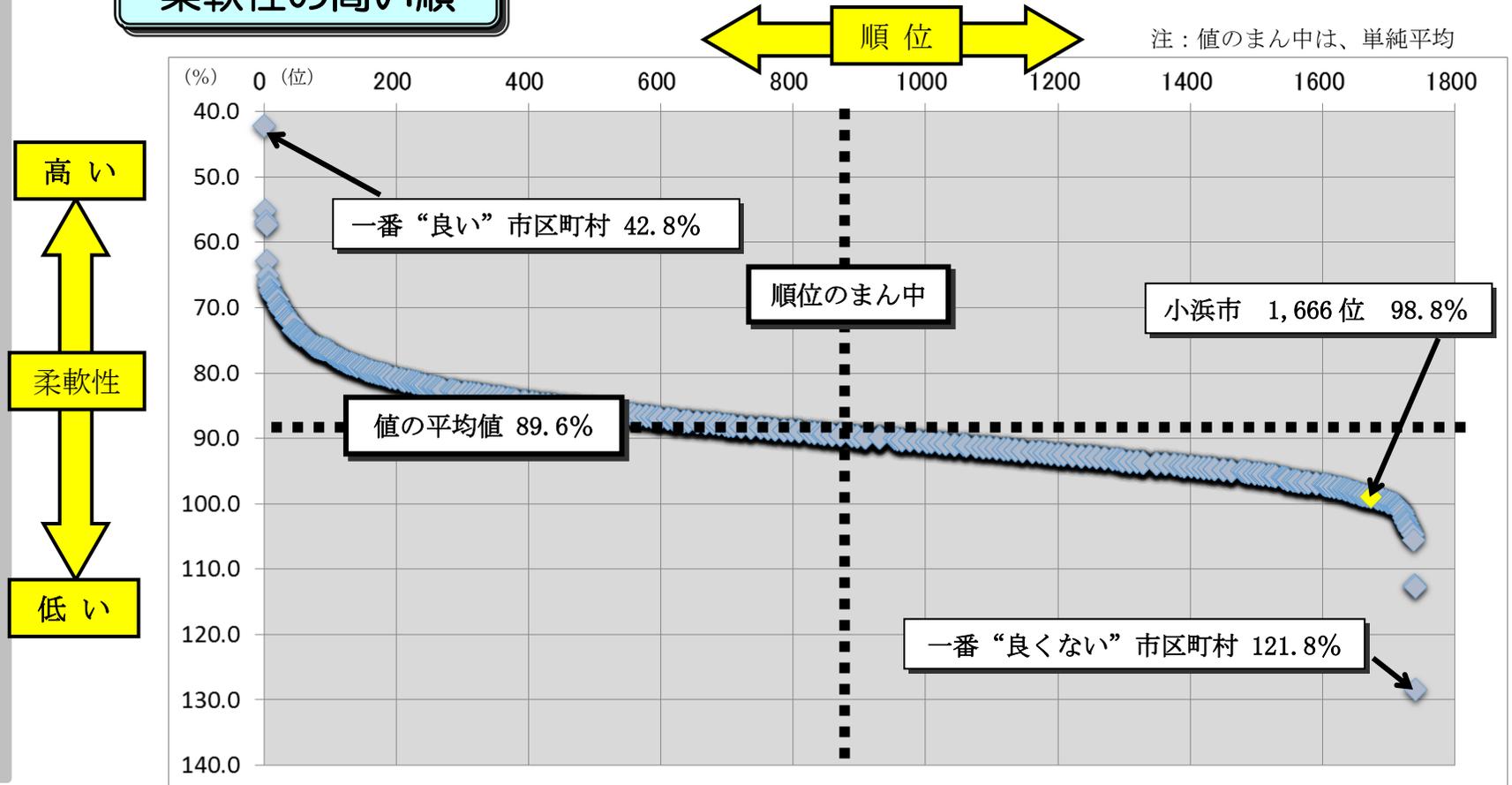
貯金残高の多い順



Q41. 全国比較で、小浜市の財政の柔軟性は、どの程度？

A41. 1,741 市区町村の中で順位をつけてみると…。(29年度 普通会計決算)

柔軟性の高い順



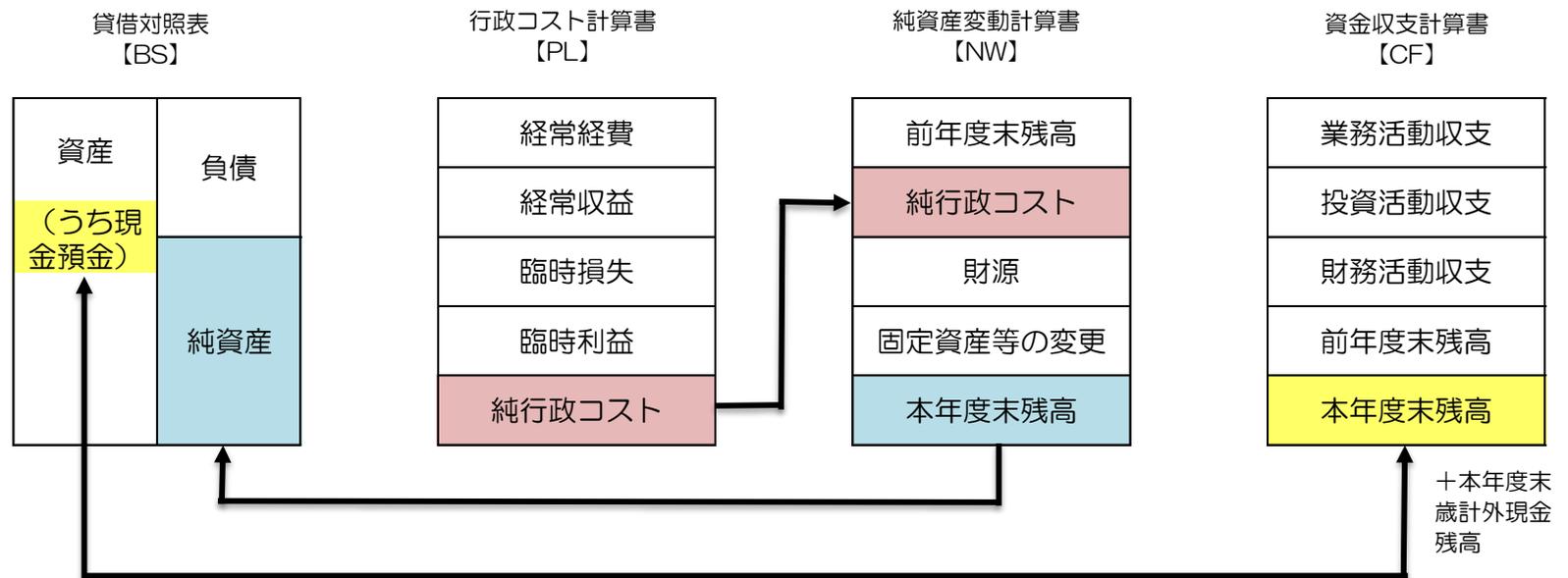
Q42. 財務書類って、なに？

A42. 発生主義・複式簿記の考え方に基づく決算の書類です。

現在の地方公共団体の会計は、単年度の現金の収支に着目した「現金主義会計」が採用されており、決算書もこれに基づいて作成されています。

この現金主義会計では、これまでに整備した資産の状況や今後返済すべき借金の残高などのストック情報が分かりにくいこと、また、減価償却費や引当金などの非資金情報が計上されていないなどの課題がありました。そこで、発生主義・複式簿記などの企業会計の手法を導入した財務書類の整備が推進されています。

財務書類は貸借対照表、行政コスト計算書（企業会計で言う損益計算書）、純資産変動計算書、資金収支計算書（企業会計で言うキャッシュフロー計算書）の4表で構成されています。別途公表している「小浜市財務書類」もご覧ください。



Q43. 小浜市の資産・負債はどれくらいあるの？

A43. 貸借対照表で確認します。(29年度 決算)

貸借対照表は、基準日（3月31日）時点における財政状態を明らかにするもので、資産、負債、純資産の3つの要素から構成されています。

左側には地方自治体の保有する財産や基金、権利などの「資産」が記載され、右側には「資産」をどのような財源で賄っているかを表すものとして、借入金など将来の世代が返済することになる「負債」と、国や県からの補助金や市税によって今までの世代が負担済みであり、返済の必要がない「純資産」が記載されています。

小浜市では、これまでに一般会計等ベースで869億円の資産を形成してきました。負債については、212億円あり、将来の世代が負担していくことになります。

(単位：百万円)

勘定科目	一般会計等	勘定科目	一般会計等
固定資産	84,249	固定負債	19,293
有形固定資産	82,148	地方債等	15,966
事業用資産	31,783	引当金	3,222
インフラ資産	49,904	その他	105
物品	461	流動負債	1,888
無形固定資産	613	1年内償還予定地方債	1,495
投資その他の資産	1,488	未払金	0
流動資産	2,630	引当金	140
現金預金	907	預り金	211
未収金	60	その他	42
基金	1,662	負債合計	21,181
その他	1	純資産	65,698
資産合計	86,879	負債・純資産合計	86,879

〔資産の主なもの〕

固定資産
 ・事業用資産：庁舎・学校・廃棄物処理施設等に係る土地・建物・工作物など
 ・インフラ資産：道路・公園・漁港施設等に係る土地・建物・工作物など
 ・無形固定資産：ソフトウェア、用益物権など
 ・投資その他の資産：財政調整基金以外の基金、出資金、滞納繰越分の未納債権など
 流動資産
 ・未収金：回収期限が到来して1年を経過していない税や使用料などの未納債権
 ・基金：財政調整基金や減債基金
 ・徴収不能引当金：貸倒引当金に相当するものであり、将来の債権の未回収に備え、事前に準備する見積額

〔負債の主なもの〕

固定負債
 ・地方債：市債のうち、償還期限が1年超のもの
 ・引当金：職員の退職に備えた退職手当引当金や履行すべき額が確定していない損失補償債務当のうち、将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上する損失補償等引当金など
 流動負債
 ・1年以内償還予定地方債：市債のうち、1年以内に返済予定のもの
 ・引当金：基準日時点までの期間に対応する期末手当・勤労手当及び法定福利費を計上する賞与等引当金
 ・預り金：源泉所得税や住民税など地方公共団体に属しない歳計外現金

〔純資産〕

・資産から負債を差し引いた額で、内訳は純資産変動計算書で表しています

Q44. 行政サービスにかかるコストはどれくらい？

A44. 行政コスト計算書で確認します。(29年度 決算)

行政コスト計算書は、1年間の行政サービスに費やされたコスト（費用）と収益の取引高を明らかにするもので、現行の会計では補足できていなかった減価償却費や引当金など、非資金コストについても計上しています。

行政サービスの提供に要した経常費用は一般会計等ベースで154億円となり、使用料及び手数料などの経常収益7億円を差し引いた純経常行政コストは147億円となっています。これに災害復旧事業費などの臨時損失や資産売却益などの臨時利益を含めて算出する純行政コストは148億円となりました。この純行政コストの不足額が市税や地方交付税、国県補助金などの収入によって補てんすることになります。

(単位：百万円)

勘定科目	一般会計等
経常費用 A	15,395
業務費用	9,208
人件費	2,664
物件費等	6,275
その他	269
移転費用	6,287
補助金等	2,565
社会保障給付	1,895
他会計への繰出金	1,716
その他	12
経常収益 B	686
純経常行政コスト B-A=C	△ 14,709
臨時損失 D	127
臨時利益 E	21
純行政コスト C-D+E=F	△ 14,815

- ・ 人件費：職員給与費や議員報酬、賞与等・退職手当引当金繰入額など
- ・ 物件費等：光熱水費、消耗品、委託料、使用料、維持補修費、減価償却費など
- ・ その他の業務費用：支払利息、自動車損害保険料など
- ・ 補助金等：市民への補助金や県・一部事務組合・広域連合などへの負担金など
- ・ 社会保障給付：児童福祉・生活保護・障害福祉などの社会保障給付費など
- ・ 使用料及び手数料：公共施設の使用料や証明書等の発行手数料など
- ・ 臨時損失：災害復旧費、資産の除売却損など臨時に発生するもの
- ・ 臨時利益：資産の売却益など臨時に発生するもの

Q45. 財務書類からなにがわかるの？

A45. これまで見えてこなかった小浜市の姿が分かります。

財務書類を作成することで、これまでの決算情報では把握できなかった情報が見えてくるようになりました。例えば貸借対照表を作成することで、有形固定資産のうち償却資産の取得価格等に対する減価償却累計額の割合を算出し、資産がどれだけ老朽化が進んでいるかを数値化することが可能となります。また、資産額や負債額、行政コストの金額を住民 1 人当たりで他団体と比較することで、小浜市の財政状況の特徴や課題が見えてきます。

ここに掲載している指標は一例です。詳細は別途公表している「小浜市財務書類」をご覧ください。

有形固定資産減価償却比率

説 明	計 算 式	指標 (29 年度)
償却資産の取得価格等に対する減価償却累計額の割合を算出することで、耐用年数に対して、資産の取得からどの程度経過しているのかを把握することができます。	減価償却累計額 ÷ 償却資産の取得価格	57.5%

債務償還可能年数

説 明	計 算 式	指標 (29 年度)
市が抱えている地方債や引当金など実質債務を経常的に確保できる資金で返済するのに何年かかるかを見る指標です。債務償還可能年数が短いほど、債務償還能力は高いことを表します。	実質債務 ÷ 業務収支等	20.8 年

おわりに

この冊子を読んでいただきまして、誠にありがとうございます。

ご覧になっておわかりのとおり、本市の財政は厳しい状況にあります。

平成20年度を「行財政改革断行元年」と位置付け、
市民の皆様のご協力のもと「行政のスリム化と支出ダイエツト」に取り組んだ結果、
いくつかの財政指標に改善がみられ、徐々にですが、財政健全化の姿が表れています。

しかしながら、地方創生に向けた施策や、老朽化する公共施設への対応など、
将来のまちづくりに欠かせない取り組みが今後も予定されています。

限られた財源のなかでこれらの施策を推進するためには
更なる行財政改革が必要です。

市民の皆さまには、今後とも市行政に関心を持っていただき、
お知恵とお力をお貸しくださいますようよろしく願いいたします。